

ヤングケアラー実態調査
結果報告書
(全体版)

令和7年3月

和歌山市こども家庭センター

目次

I 調査概要

1. 調査の概要.....	1
2. 利用上の注意点.....	2

II 調査結果

(小学生へのアンケート)

問1 学年	3
問2 性別	3
問3 健康状態	4
問4 出欠状況	4
問5 遅刻・早退	5
問6 同居状況	5
問7 相談相手	6
問8 お世話をしている人の有無	6
問9 お世話をしている人	7
問10 お世話をしている人の状況	7
問11 お世話の内容	8
問12 お世話をする頻度	8
問13 お世話をしている時間（一日当たり）	9
問14 お世話をすることへの感情等	9
問15 お世話を断ることは可能か	10
問16 お世話を手伝ってくれる人	10
問17 お世話の相談の有無	11
問18 相談した人	11
問19 相談した理由	12
問20 相談した結果	12
問21 相談しなかった理由	13
問22 必要な手助け・サポート	13
問23 ヤングケアラーの認知度	14
問24 ヤングケアラーに係る自己認識	14
※自由意見（問25「ヤングケアラー」のサポートについて）	15

(中学生・高校生へのアンケート)

問1 学年	17
問2 性別	17
問3 健康状態	18
問4 出欠状況	18
問5 遅刻・早退	19

問6	同居状況	19
問7	相談相手	20
問8	お世話をしている人の有無	20
問9	お世話をしている人	21
問10	お世話をしている人の状況	21
問11	お世話の内容	22
問12	お世話をする頻度	22
問13	お世話をしている時間（一日当たり）	23
問14	お世話をする事への感情等	23
問15	お世話を断ることは可能か	24
問16	お世話を手伝ってくれる人	24
問17	お世話の相談の有無	25
問18	相談した人	25
問19	相談した理由	26
問20	相談した結果	26
問21	相談しなかった理由	27
問22	相談しやすい相手の条件	27
問23	必要な手助け・サポート	28
問24	同じ悩みを共有できるイベント等への参加	28
問25	「ヤングケアラー」の認知度	29
問26	「ヤングケアラー」に係る自己認識	29
※自由意見（問27「ヤングケアラー」のサポートについて）		30

（教職員へのアンケート）

問1	学校種別	33
問2	職位	33
問3	「ヤングケアラー」の認知度	34
問4	児童虐待の該当性	34
問5	早期発見の可能性	35
問6	早期発見のための日常的な取組	35
問7	「ヤングケアラー」の有無	36
問8	ケアをしている人	36
問9	ケアをしている家族の状況	37
問10	学内での相談	37
問11	学外との連携	38
問12	「ヤングケアラー」を支援する際の課題	38
問14	「ヤングケアラー」の有無（担任の先生への質問）	39
問15	「ヤングケアラー」の人数（担任の先生への質問）	39
※自由意見（問13 課題解決に向けた重要な取組について）		40

Ⅲ 参考資料（調査票）

I 調査概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的

国において、令和6年6月12日に「子ども・若者育成支援推進法」を改正し、ヤングケアラーを定義づけるとともに国及び地方公共団体が各種支援に努めるべき対象にヤングケアラーを明記した。このような国の動向を踏まえ、本市としても、ヤングケアラーの実態を精確に把握した上で、実情や児童・生徒が求めている支援に沿った今後のヤングケアラー支援体制を構築するための基礎資料とする。また、教職員に対する調査については、これまでの研修等の成果を確認するとともに、今後の研修の必要性等を検討する材料とする。

(2) 調査対象

- ア 和歌山市立の小学校、中学校、高等学校及び義務教育学校の児童生徒
- ・小学校5、6年生（義務教育学校5、6年生） 5,515人（51校）
 - ・中学校2年生（義務教育学校8年生） 2,227人（18校）
 - ・高等学校（全日制及び定時制）2年生 252人（1校）
- イ 和歌山市立の小学校、中学校、高等学校及び義務教育学校の教職員
- ・校長、副校長、教頭、教諭、講師、養護教諭 1,672人（69校）

(3) 調査方法

無記名式アンケート調査

（各学校に調査票を配布し、学校で取りまとめて回収）

(4) 調査期間

令和6年9月上旬～9月30日

(5) 調査内容

巻末参考資料「調査票」参照

(6) 回収結果

- ・小学校5、6年生（義務教育学校5、6年生） 5,328人（回収率96.6%）
- ・中学校2年生（義務教育学校8年生） 2,124人（回収率95.4%）
- ・高等学校（全日制及び定時制）2年生 250人（回収率99.2%）
- ・教職員 1,581人（回収率94.6%）

(7) その他

調査票の発送や集計、分析等の調査業務の一部を外部委託
(受託事業者：一般財団法人和歌山社会経済研究所)

2. 利用上の注意点

(1) 図表グラフの形式等について

各設問の標本数(回答者数)は、図表グラフ中に「n=●●●」と表示している。

(2) 調査結果の「%」表記等について

- ・小数第2位を四捨五入した値であるため、単数回答の場合でも、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、回答数を100%として各選択肢の値を算出しているため、合計は100%にならない。

(3) 小学校、中学校の表記について

小学校は義務教育学校前期を含み、中学校は義務教育学校後期を含んでいる。
(例：小学校5、6年生は、義務教育学校5、6年生を含む)

II 調查結果

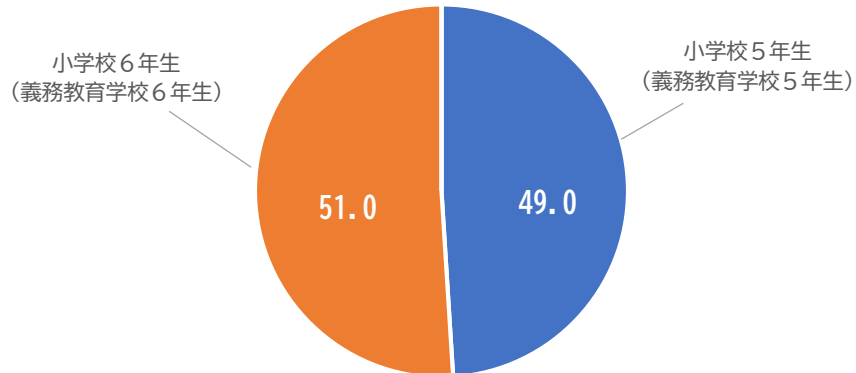
小学生

問1 あなたの学年を教えてください。(1つに○)

○「小学校5年生」49.0%、「小学校6年生」51.0%となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)

(単位：%)

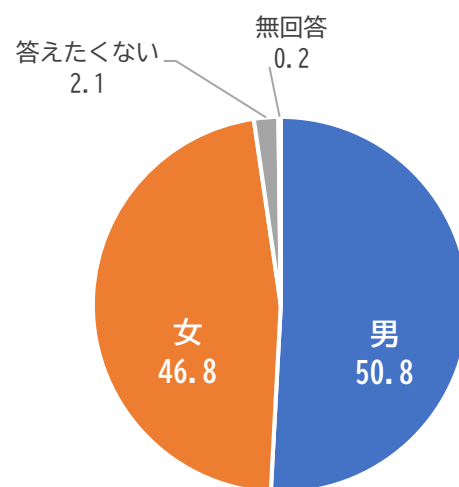


問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

○「男」50.8%、「女」46.8%となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)

(単位：%)

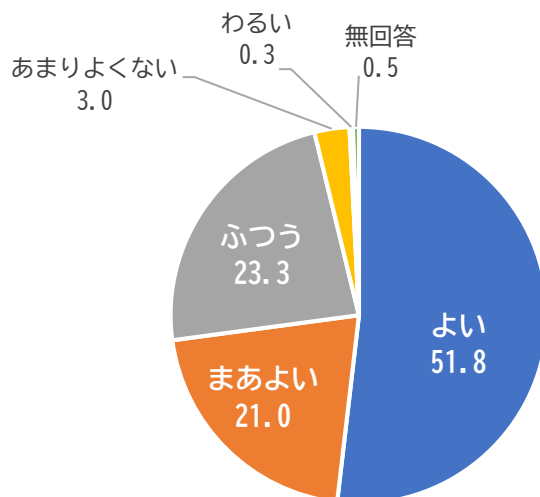


問3 あなたの健康状態について教えてください。(1つに○)

○「よい」51.8%が最も多く、次いで「ふつう」23.3%、「まあよい」21.0%となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)

(単位：%)

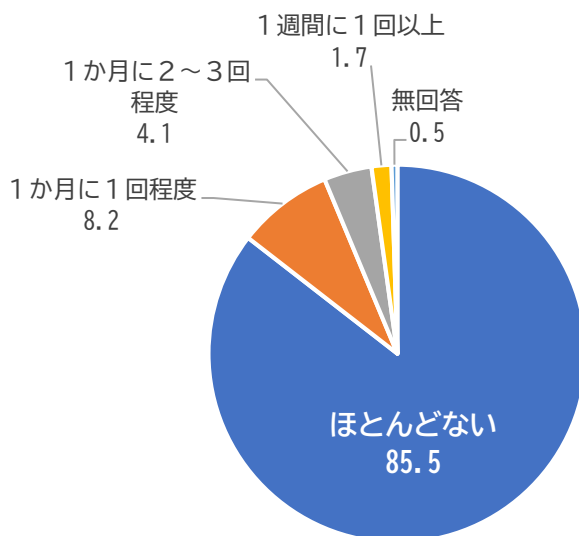


問4 あなたは学校を欠席することがありますか。(1つに○)

○「ほとんどない」85.5%が最も多く、次いで「1か月に1回程度」8.2%、「1か月に2～3回程度」4.1%となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)

(単位：%)

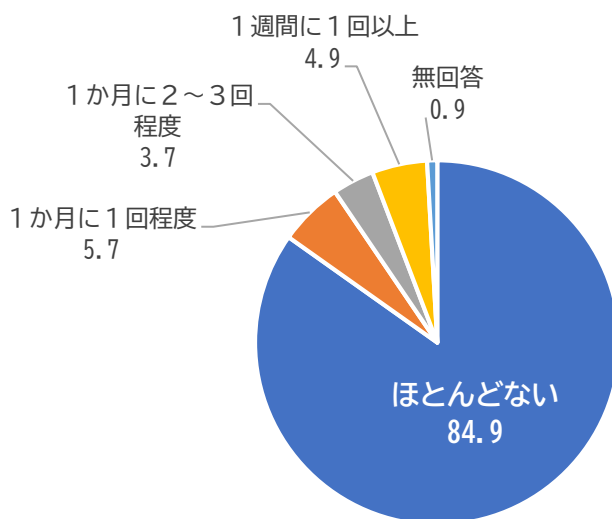


問5 あなたは学校に遅刻または早退することがありますか。(1つに○)

○「ほとんどない」84.9%が最も多く、次いで「1か月に1回程度」5.7%、「1週間に1回以上」4.9%となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)

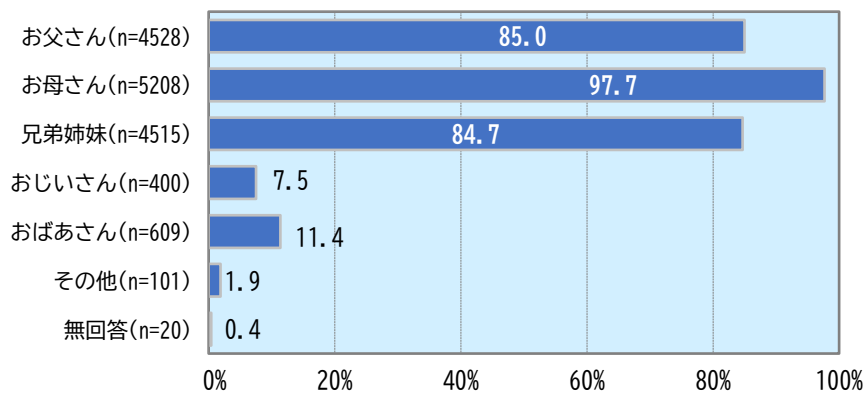
(単位：%)



問6 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(すべてに○)

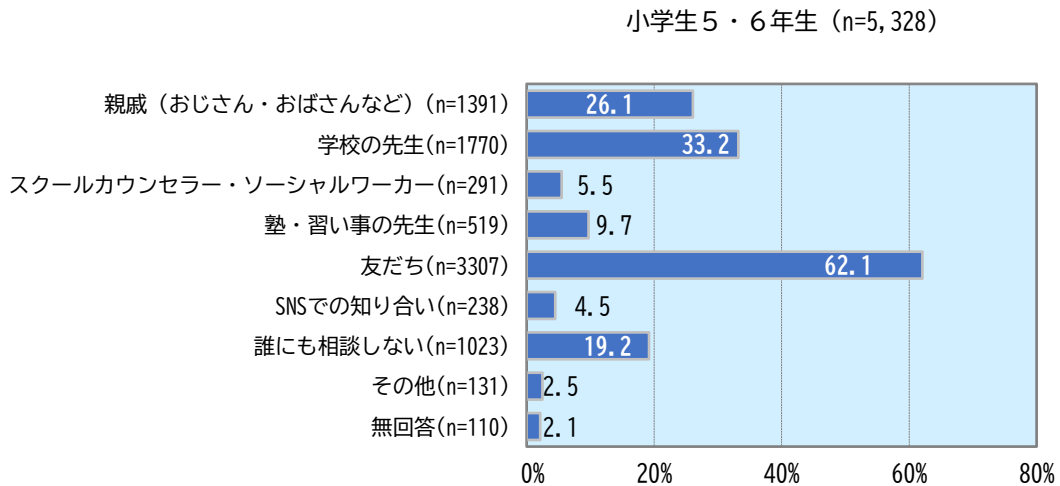
○「お母さん」97.7%が最も多く、次いで「お父さん」85.0%、「兄弟姉妹」84.7%となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)



問7 家族（親・兄弟姉妹など）のことで悩みや不安がある場合、家族以外で相談しやすい相手は誰ですか。（すべてに○）

○「友だち」62.1%で最も多く、次いで「学校の先生」33.2%、「親戚」26.1%となっている。

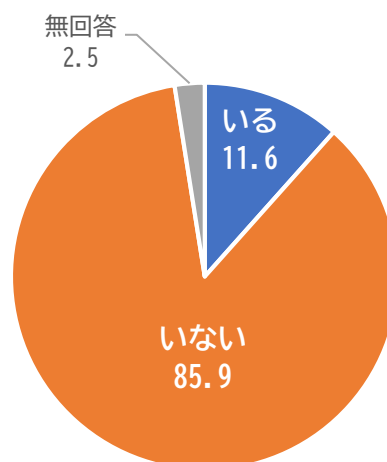


問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（1つに○）

○「いる」11.6%と9人に1人が家族のお世話をしている状況となっている。また、「いない」85.9%となっている。

小学生5・6年生（n=5,328）

（単位：%）

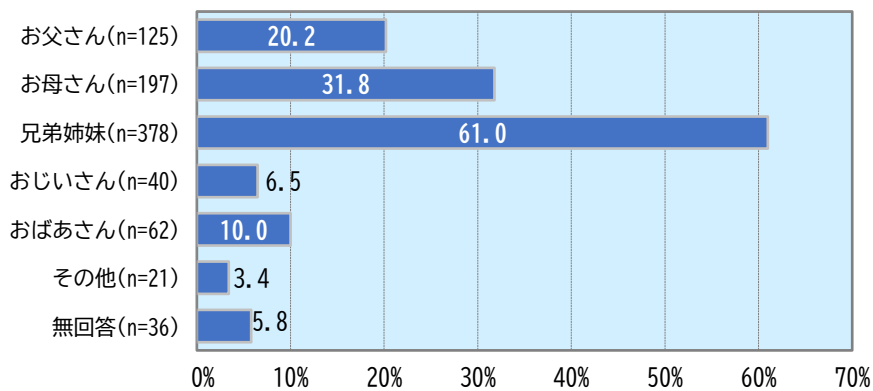


「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問9 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(すべてに○)

○「兄弟姉妹」61.0%が最も多く、次いで「お母さん」31.8%、「お父さん」20.2%となっていることから、身近な家族へのお世話がが多い状況となっている。

小学生5・6年生 (n=620)

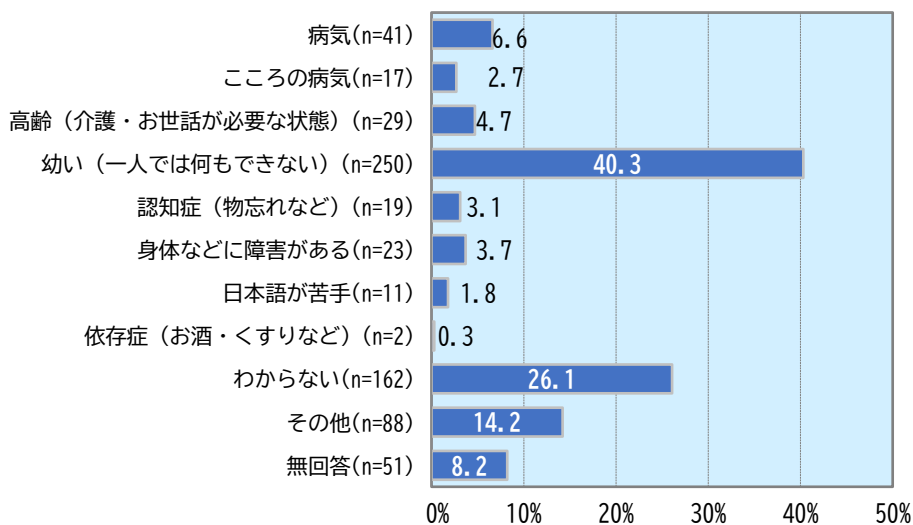


「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問10 あなたのお世話が必要な理由は何ですか。(すべてに○)

○「若い」40.3%が最も多く、次いで「わからない」26.1%となっている。

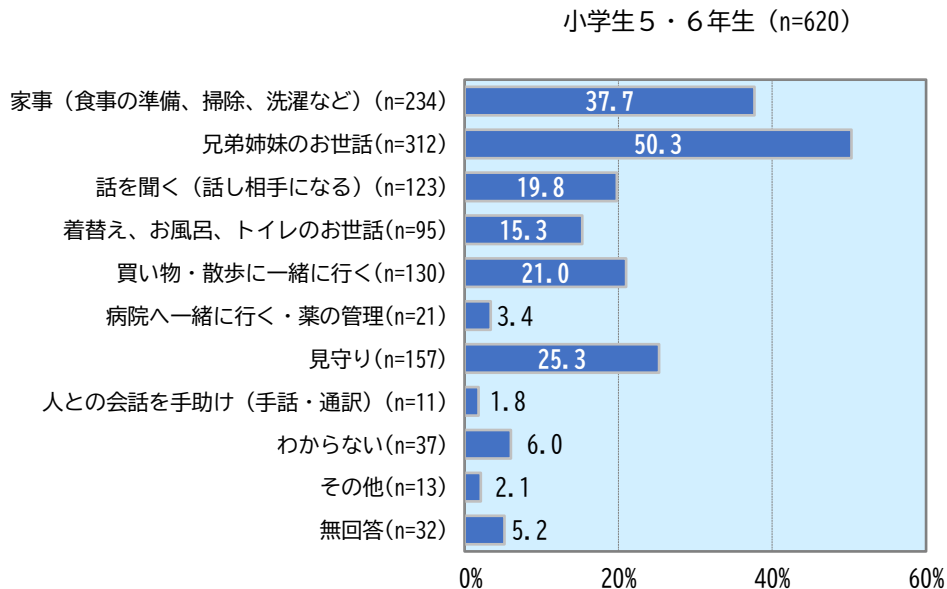
小学生5・6年生 (n=620)



「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問11 あなたはどのようなお世話をしていますか。(すべてに○)

○「兄弟姉妹のお世話」50.3%で最も多く、次いで「家事」37.7%、「見守り」25.3%となっている。



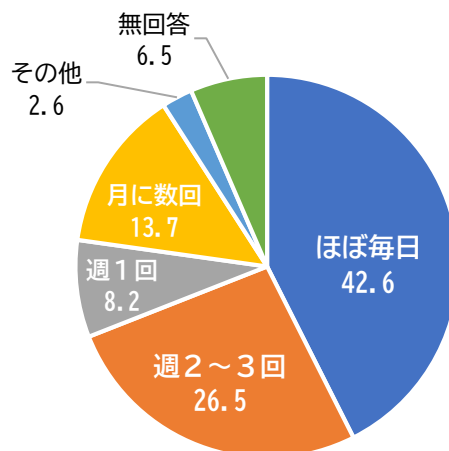
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問12 お世話をする回数はどれくらいですか。(1つに○)

○「ほぼ毎日」42.6%が最も多く、次いで「週2～3回」26.5%、「月に数回」13.7%となっている。

小学生5・6年生 (n=620)

(単位：%)



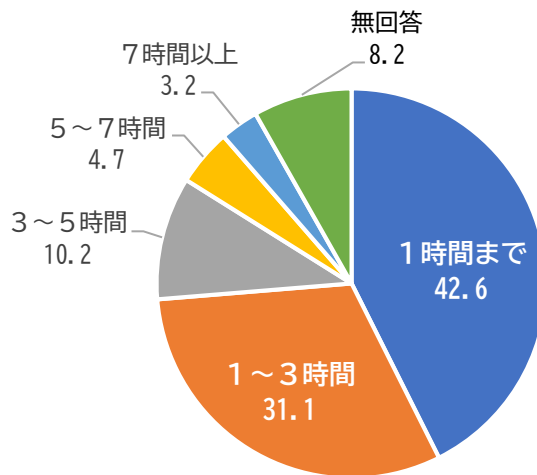
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問13 学校のある日に、家族のお世話をしている時間は一日当たりでどのくらいですか。
(1つに○)

○「1時間まで」42.6%が最も多く、次いで「1～3時間」31.1%、「3～5時間」10.2%となっている。

小学生5・6年生 (n=620)

(単位：%)

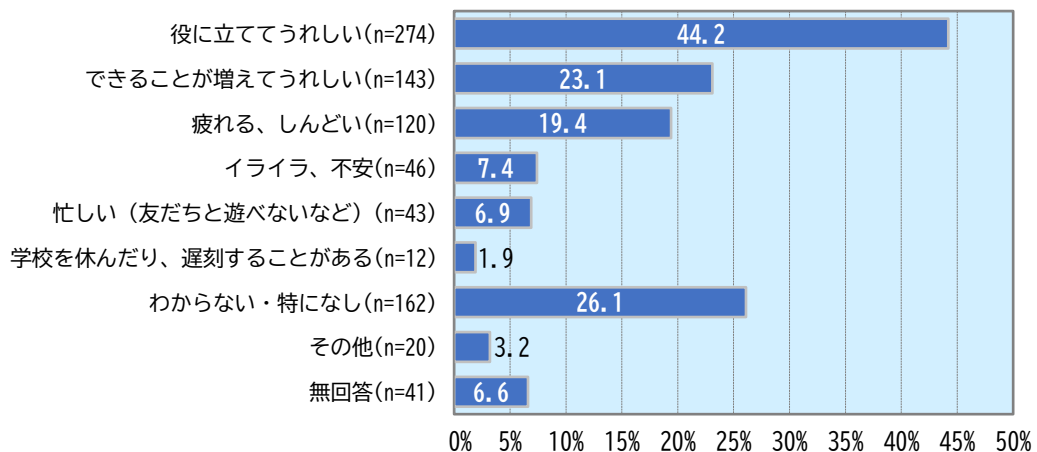


「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問14 家族のお世話をすることについて、どのように感じていますか。(すべてに○)

○「役に立ててうれしい」44.2%が最も多く、次いで「わからない・特になし」26.1%、「できることが増えてうれしい」23.1%、「疲れる、しんどい」19.4%となっている。

小学生5・6年生 (n=620)



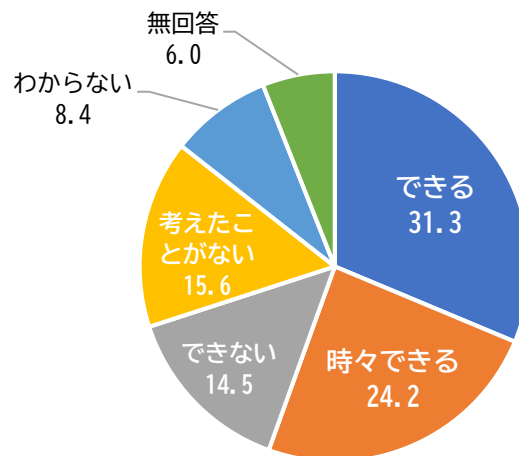
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問15 あなたがお世話をしたくないと思う時は、断ることができますか。(1つに○)

○「できる」31.3%が最も多く、次いで「時々できる」24.2%となっており、一定断ることのできる環境となっている。一方、「考えたことがない」15.6%、「できない」14.5%となっている。

小学生5・6年生 (n=620)

(単位：%)



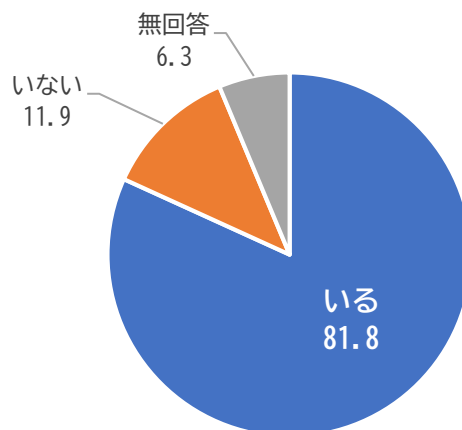
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問16 家族のお世話を手伝ってくれる人はいますか。(1つに○)

○「いる」81.8%となっており、一人で抱え込むのではなく、誰かの手伝いがある環境下にある。一方、「いない」11.9%となっている。

小学生5・6年生 (n=620)

(単位：%)



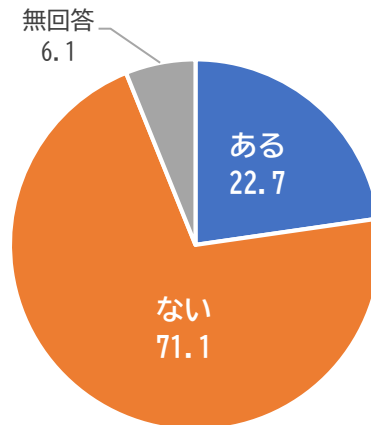
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問17 家族のお世話について、誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

○「ある」22.7%、「ない」71.1%となっており、7割超が相談につながっていない状況となっている。

小学生5・6年生 (n=620)

(単位：%)

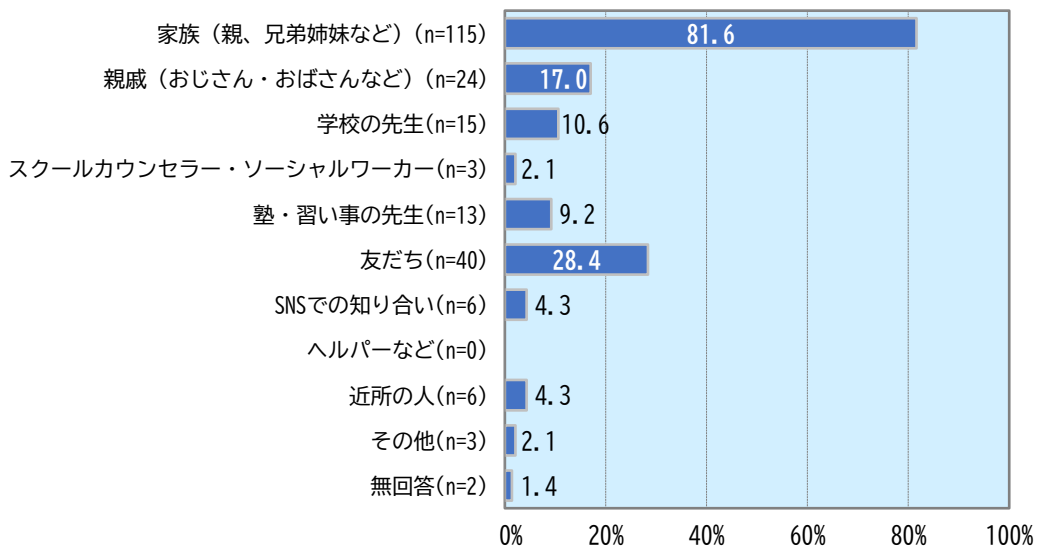


「問17で「ある」を選んだ人に質問です」

問18 誰に相談しましたか。(すべてに○)

○「家族」81.6%が最も多く、次いで「友だち」28.4%、「親戚」17.0%となっている。

小学生5・6年生 (n=141)

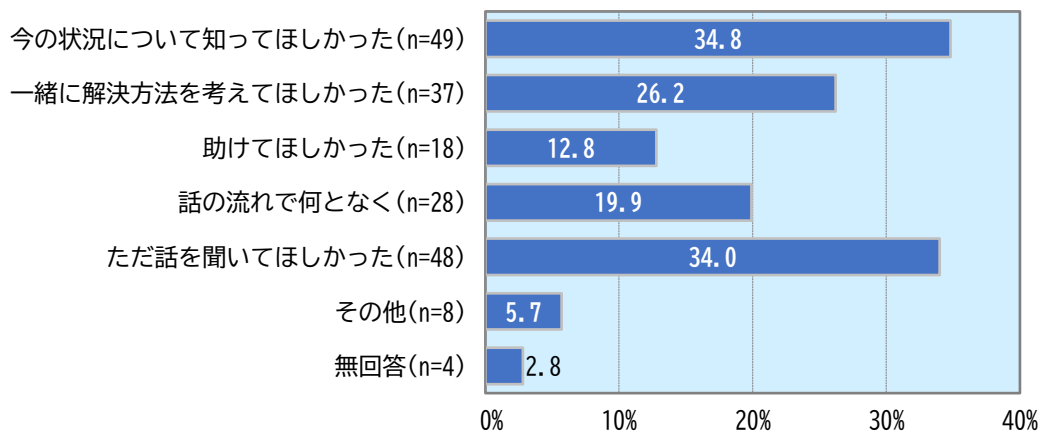


「問 17 で「ある」を選んだ人に質問です」

問 19 相談した理由は何ですか。(すべてに○)

○「今の状況について知ってほしかった」34.8%が最も多く、次いで「ただ話を聞いてほしかった」34.0%と自分の状況を知っておいてほしいという気持ちが窺える。また、「一緒に解決方法を考えてほしかった」26.2%となっており、現状を改善したい気持ちもあることが窺える。

小学生5・6年生 (n=141)

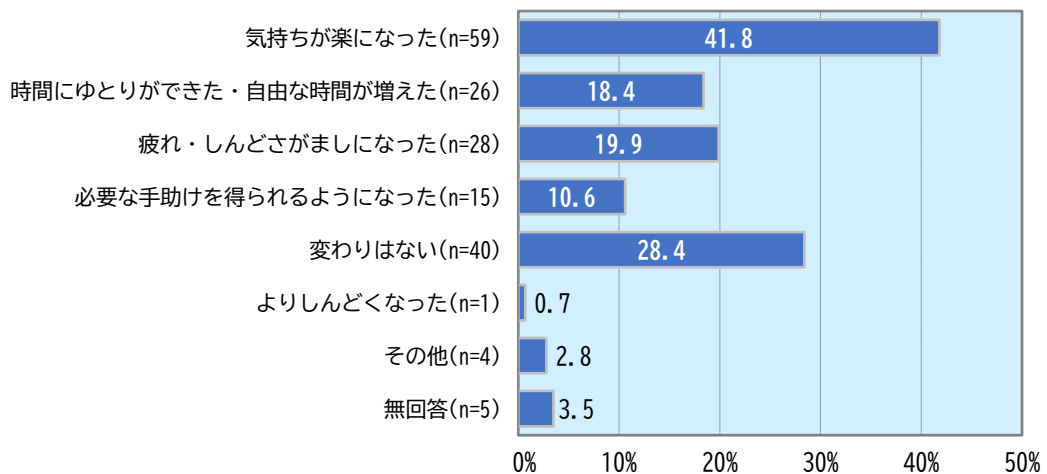


「問 17 で「ある」を選んだ人に質問です」

問 20 相談したことで、あなたの生活は変わりましたか。(すべてに○)

○「気持ちが楽になった」41.8%が最も多く、次いで「変わりはない」28.4%、「疲れ・しんどさがましになった」19.9%となっていることから、相談支援の必要性が窺える。

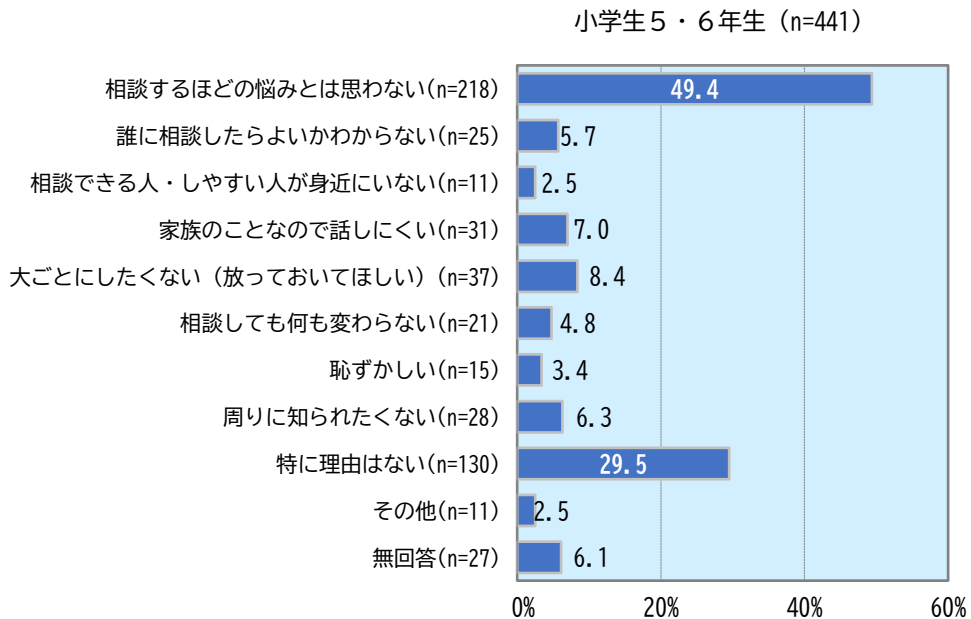
小学生5・6年生 (n=141)



「問 17 で「ない」を選んだ人に質問です」

問 21 相談しない理由は何ですか。(すべてに○)

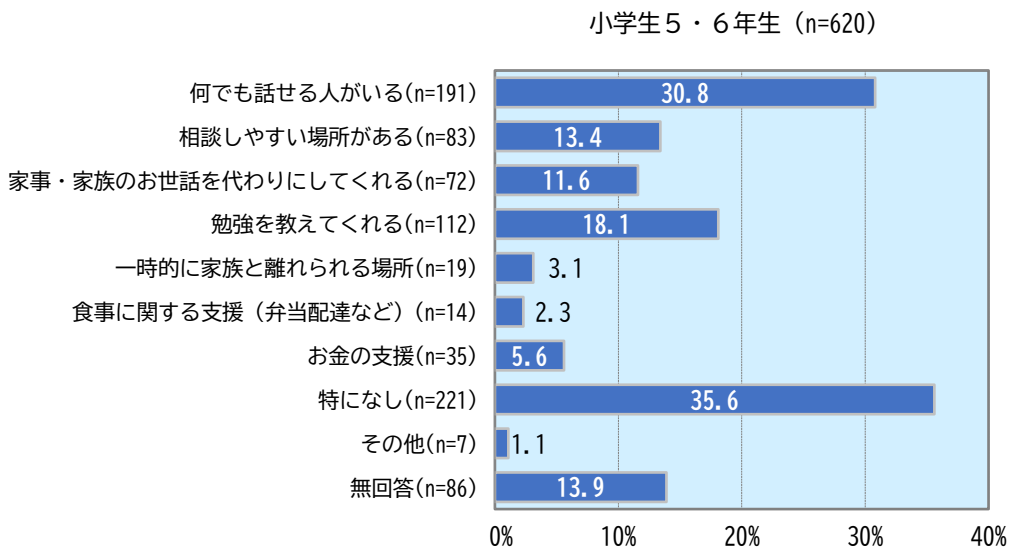
○「相談するほどの悩みとは思わない」49.4%が最も多く、次いで「特に理由はない」29.5%となっている。



「問 8 で「いる」を選んだ人に質問です」

問 22 どんな支援(手助け・サポート)があれば良いですか。(すべてに○)

○「特になし」35.6%が最も多く、次いで「何でも話せる人がいる」30.8%、「勉強を教えてくれる」18.1%となっている。

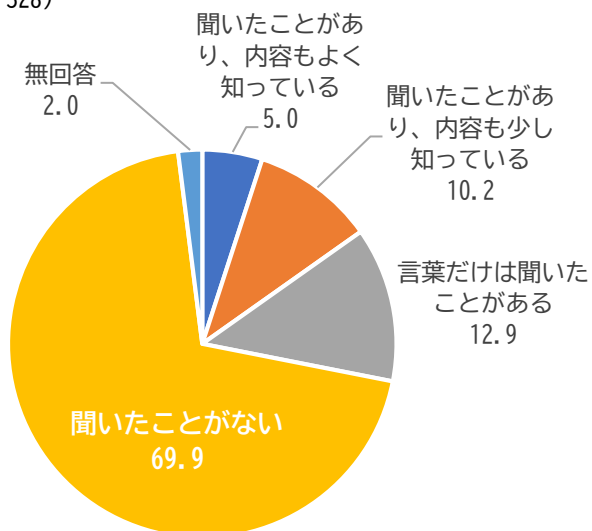


問 23 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

○「聞いたことがない」69.9%が最も多く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」12.9%、「聞いたことがあり、内容も少し知っている」10.2%となっていることから、まだまだ認知がされていない状況となっている。

小学生5・6年生 (n=5,328)

(単位：%)

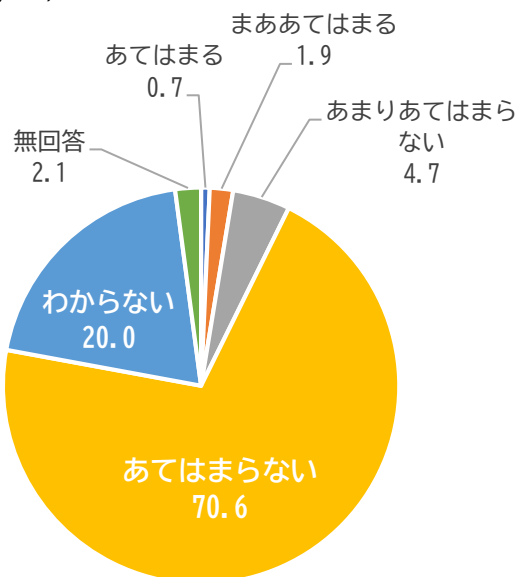


問 24 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(1つに○)

○「あてはまらない」70.6%が最も多く、次いで「わからない」20.0%となっている。一方、「あてはまる」0.7%、「まああてはまる」1.9%と自身の行為がヤングケアラーだと感じている児童もいることが窺える。

小学生5・6年生 (n=5,328)

(単位：%)



問 25 もし、あなた自身やあなたの友だちが「ヤングケアラー」だった場合、周りの大人から、どのような手助け・サポートがあれば良いと思いますか。自由に書いてください。

内容	主な意見
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○お金の支援があれば良いと思う。 ○募金活動などをして、学校に行くお金などを支援する。
家事等のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ○大人の人にサポートしてもらえるとよい。 ○代わりにできることや、手伝ってあげられることは手助けをしたらいいと思う。 ○学校へ行ったり、勉強しているときに家事をしてもらう。 ○ヤングケアラーのしなければいけないことを代わりにしてくれる手助けがあれば良いと思う。
相談・寄り添い	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ状況同士の人たちで、気軽に話せる機会があれば良い。ヤングケアラーについて、詳しく知っている大人と話せる機会があったら良い。 ○気軽に相談できたり、手助けを求められるようなところがあるとよいと思う。 ○ヤングケアラーの人の思いを聞いてあげて一緒に考えてあげると良い。 ○困っていたら、心優しく聞いて、何か言いたいことがあったら、何でも言えるとよい。言いたいことが言えなかったら、心に負担などがかかってしまうから、優しく話を聞いてあげる。
施設整備・入所	<ul style="list-style-type: none"> ○介護施設などに家族を入れる支援があればいいと思う。 ○無料で施設に預けられるところを作ったら良いと思う。
共助	<ul style="list-style-type: none"> ○地域でヤングケアラーの手助けをするグループを作る。 ○ヤングケアラーの人達が集まる会などを作り、楽しくできるような会をたまに開く。
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動やイベントでヤングケアラーのことを知ってもらう。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○無理に手助け、応援なんかは本人からすると邪魔に感じるかもしれないから、適度に手助けする方がいいと思う。 ○少しでも配慮して欲しいが、同情はらない。

※可能な限り、回答者の表現を用いる形で掲載

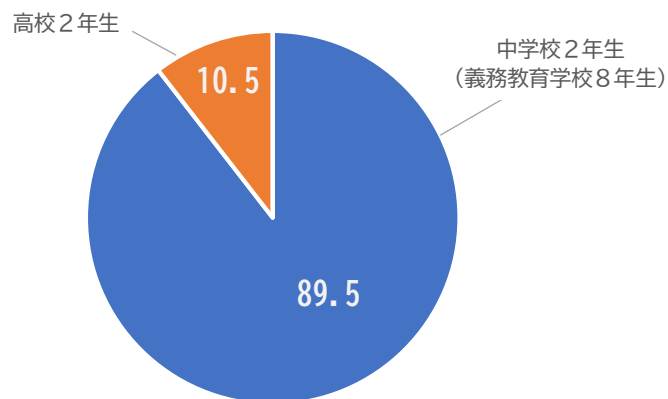
中学・高校生

問1 あなたの学年を教えてください。(1つに○)

○「中学校2年生」80.5%、「高校2年生」10.5%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

(単位：%)

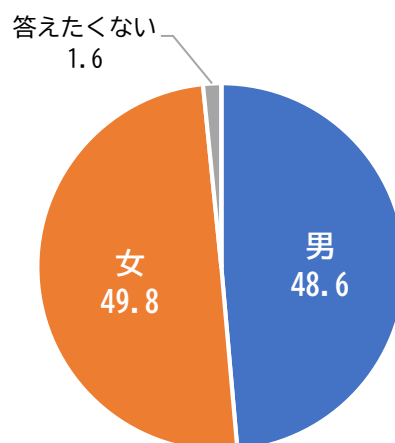


問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

○「男」48.6%、「女」49.8%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

(単位：%)

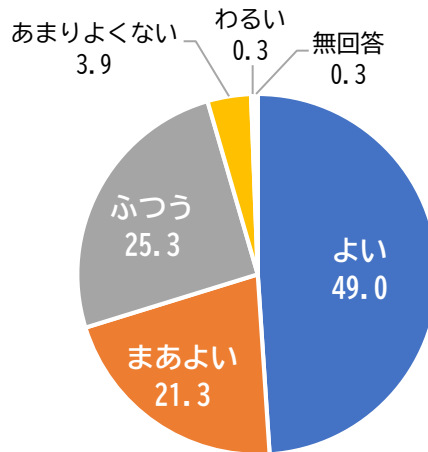


問3 あなたの健康状態について教えてください。(1つに○)

○「よい」49.0%が最も多く、次いで「ふつう」25.3%、「まあよい」21.3%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

(単位：%)

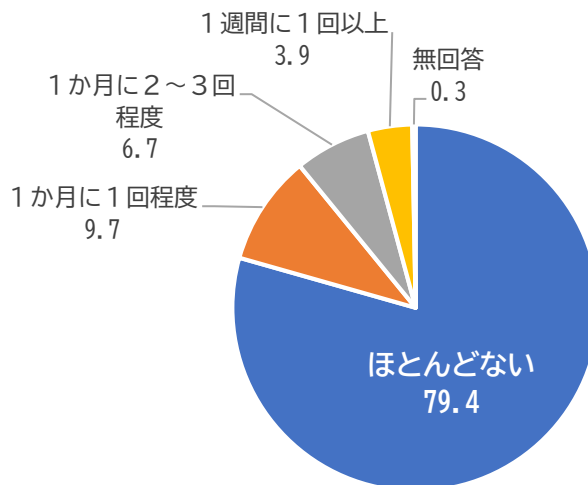


問4 あなたは学校を欠席することがありますか。(1つに○)

○「ほとんどない」79.4%が最も多く、次いで「1か月に1回程度」9.7%、「1か月に2～3回程度」6.7%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

(単位：%)

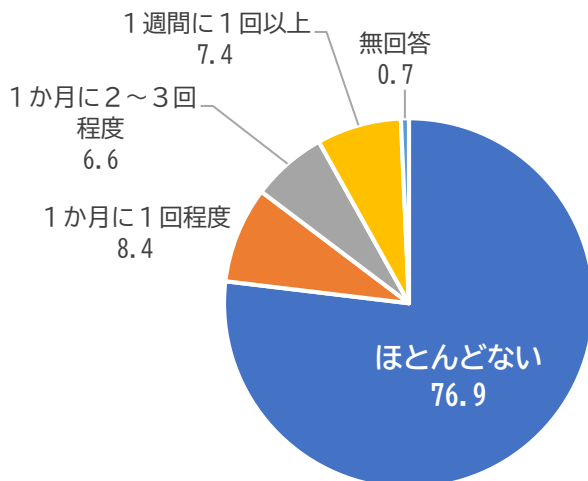


問5 あなたは学校に遅刻または早退することがありますか。(1つに○)

○「ほとんどない」76.9%が最も多く、次いで「1か月に1回程度」8.4%、「1週間に1回以上」7.4%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

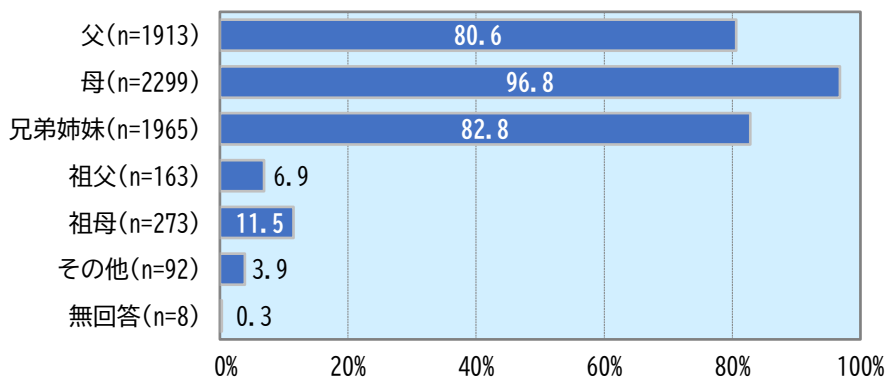
(単位：%)



問6 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(すべてに○)

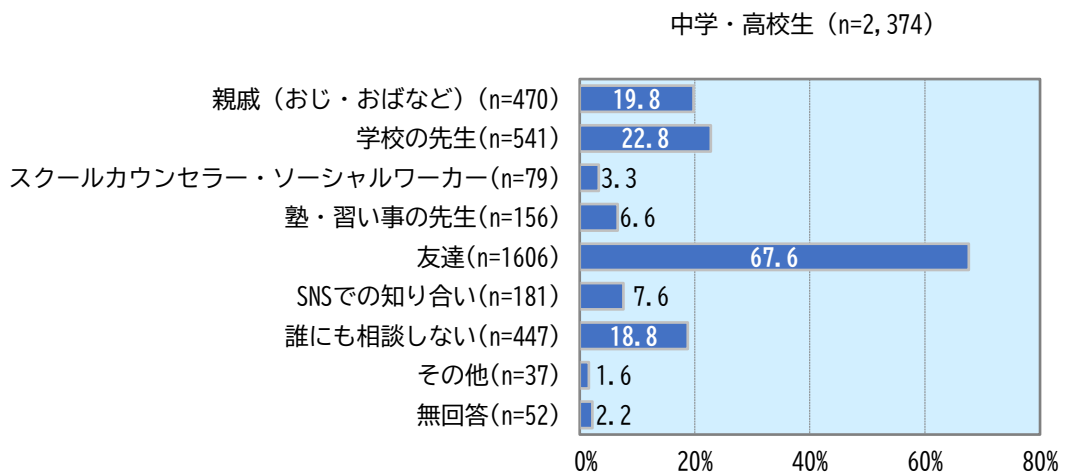
○「お母さん」96.8%が最も多く、次いで「兄弟姉妹」82.8%、「父」80.6%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)



問7 家族（親・兄弟姉妹など）のことで悩みや不安がある場合、家族以外で相談しやすい相手は誰ですか。（すべてに○）

○「友達」67.6%が最も多く、次いで「学校の先生」22.8%、「親戚」19.8%となっている。

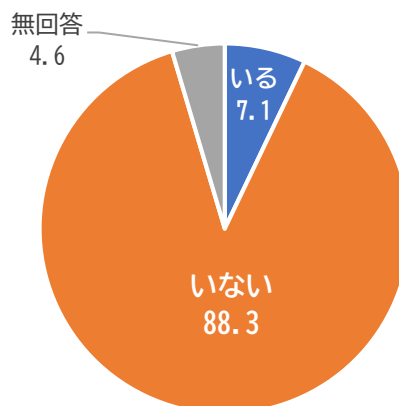


問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（1つに○）

○「いる」7.1%と14人に1人が家族のお世話をしている状況となっている。また、「いない」88.3%となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

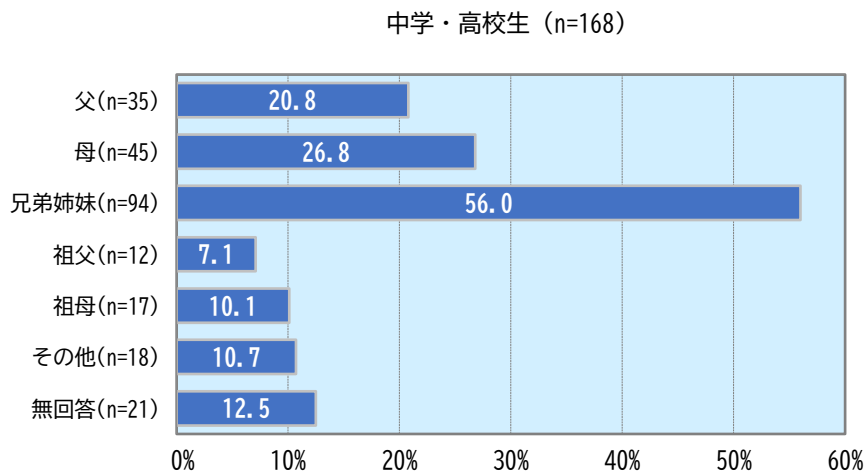
(単位：%)



「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問9 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(すべてに○)

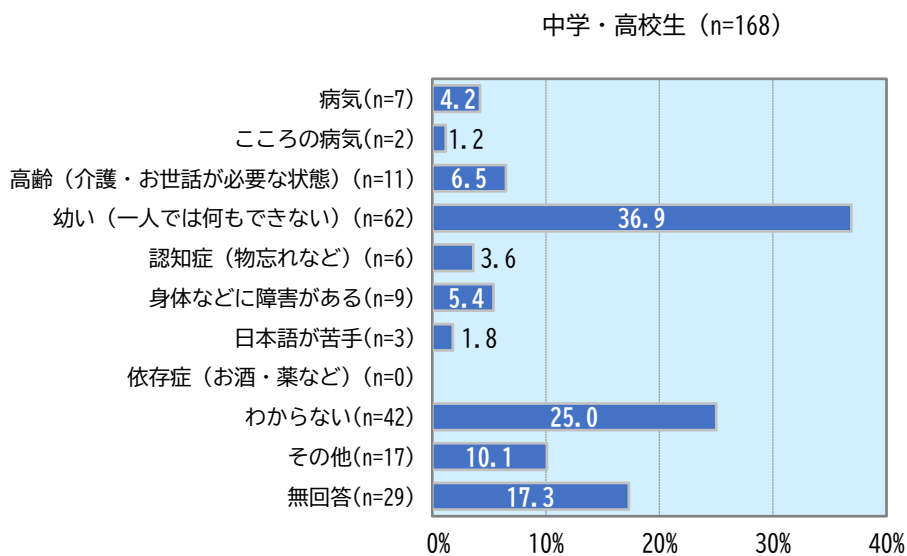
○「兄弟姉妹」56.0%が最も多く、次いで「母」26.8%、「父」20.8%となっていることから、身近な家族へのお世話がが多い状況となっている。



「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問10 あなたがお世話をしている人の状況を教えてください。(すべてに○)

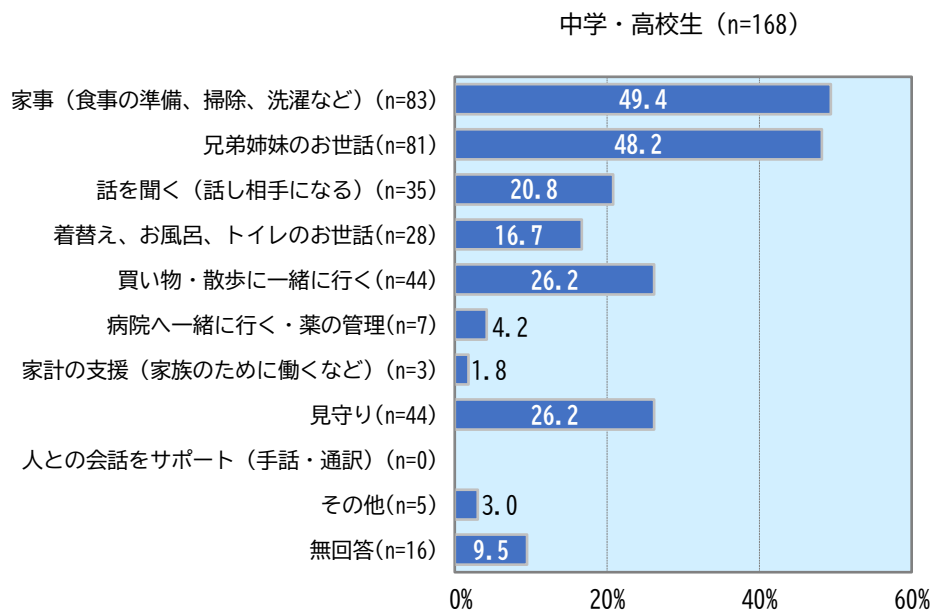
○「若い」36.9%が最も多く、次いで「わからない」25.0%となっている。



「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問11 あなたはどのようなお世話をしていますか。(すべてに○)

○「家事」49.4%が最も多く、次いで「兄弟姉妹のお世話」48.2%で、「買い物・散歩と一緒にいく」、「見守り」がそれぞれ26.2%となっている。



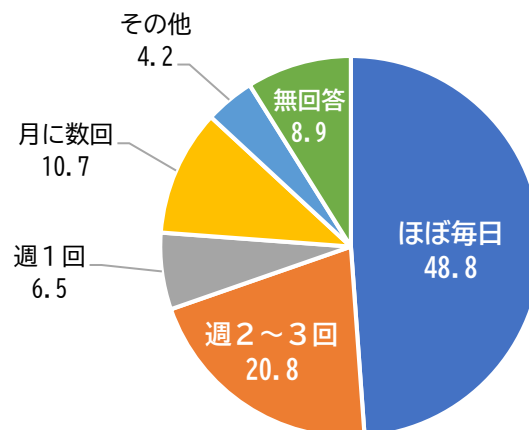
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問12 お世話をする頻度はどれくらいですか。(1つに○)

○「ほぼ毎日」48.8%が最も多く、次いで「週2～3回」20.8%、「月に数回」10.7%となっている。

中学・高校生 (n=168)

(単位: %)



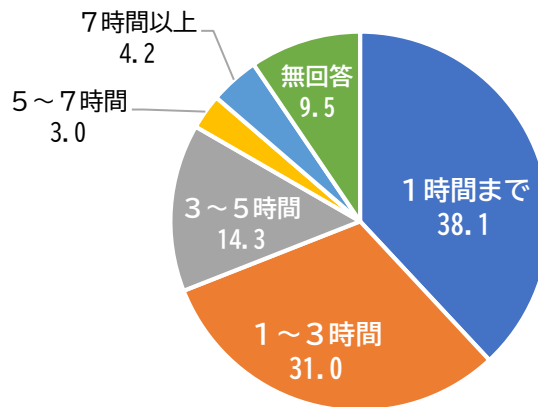
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問13 学校のある日に、家族のお世話をしている時間は一日当たりでどのくらいですか。
(1つに○)

○「1時間まで」38.1%が最も多く、次いで「1～3時間」31.0%、「3～5時間」14.3%となっている。

中学・高校生 (n=168)

(単位：%)

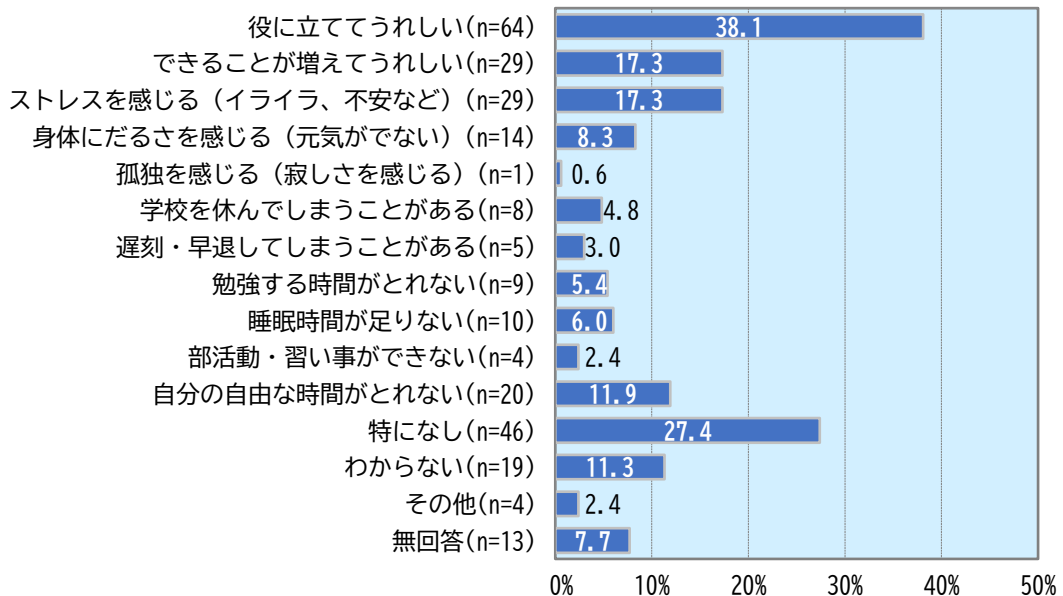


「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問14 家族のお世話をすることについて、どのように感じていますか。(すべてに○)

○「役に立ててうれしい」38.1%が最も多く、次いで「特になし」27.4%、「できることが増えてうれしい」、「ストレスを感じる」がそれぞれ17.3%となっている。

中学・高校生 (n=168)



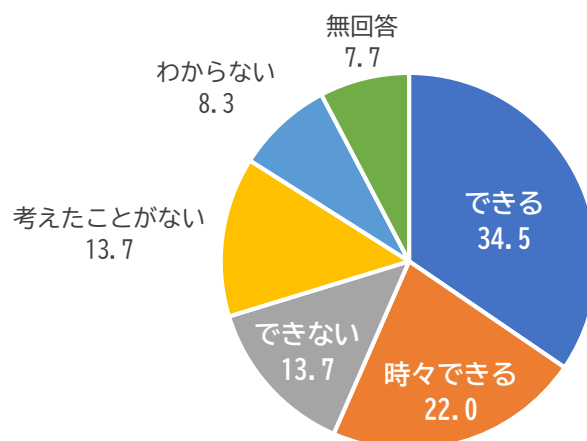
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問15 あなたがお世話をしたくないと思う時は、断ることができますか。(1つに○)

○「できる」34.5%が最も多く、次いで「時々できる」22.0%となっており、一定断ることのできる環境となっている。一方、「できない」、「考えたことがない」がそれぞれ13.7%となっている。

中学・高校生 (n=168)

(単位：%)



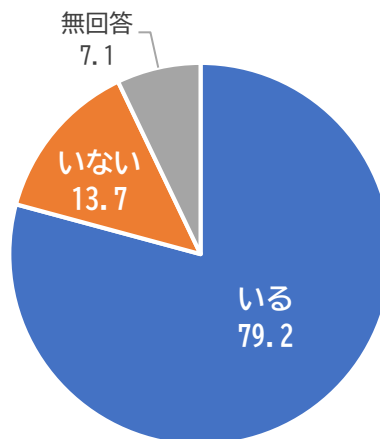
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問16 家族のお世話を手伝ってくれる人はいますか。(1つに○)

○「いる」79.2%となっており、一人で抱え込むのではなく、誰かの手伝いがある環境下にある。一方、「いない」13.7%となっている。

中学・高校生 (n=168)

(単位：%)



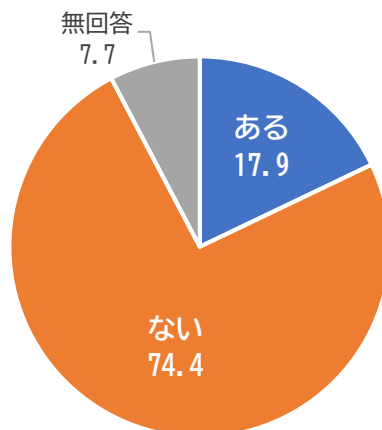
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問17 家族のお世話について、誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

○「ある」17.9%、「ない」74.4%となっており、7割超が相談につながっていない状況となっている。

中学・高校生 (n=168)

(単位：%)

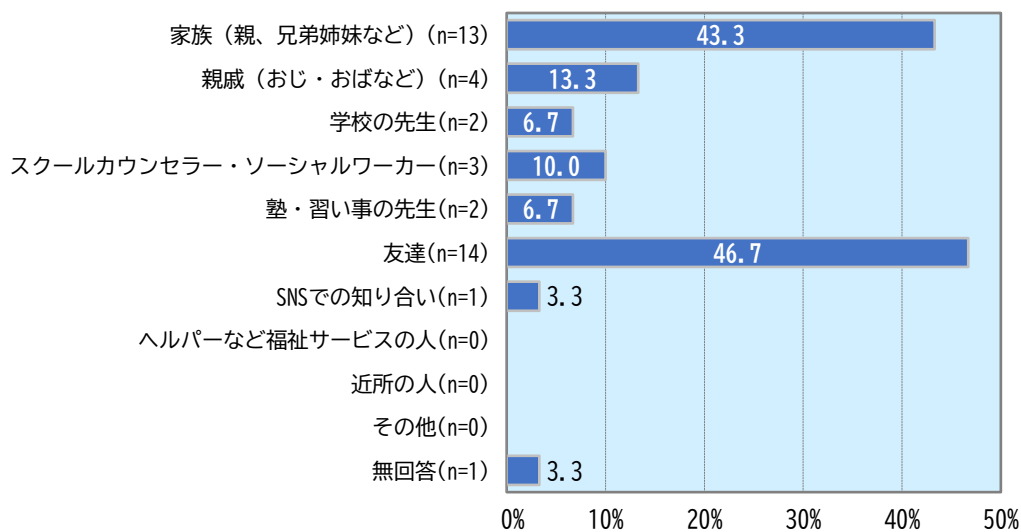


「問17で「ある」を選んだ人に質問です」

問18 誰に相談しましたか。(すべてに○)

○「友達」46.7%が最も多く、次いで「家族」43.3%、「親戚」13.3%となっている。

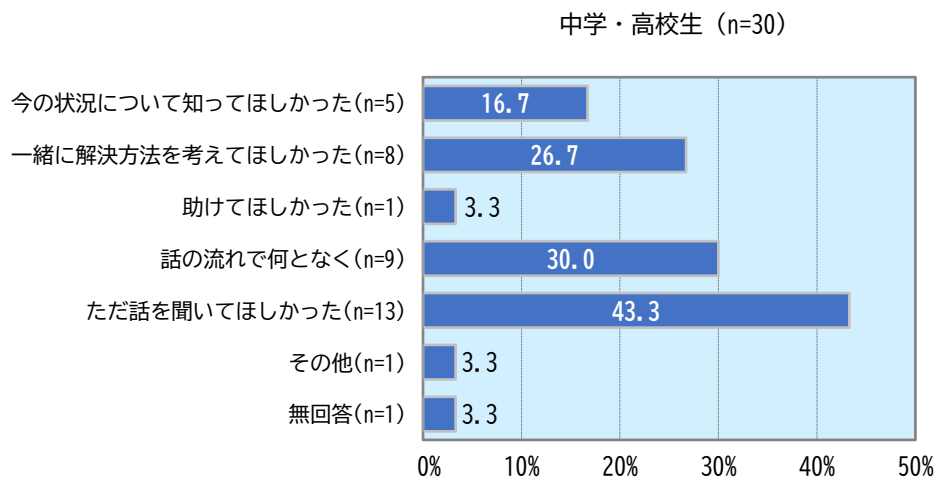
中学・高校生 (n=30)



「問 17 で「ある」を選んだ人に質問です」

問 19 相談した理由は何ですか。(すべてに○)

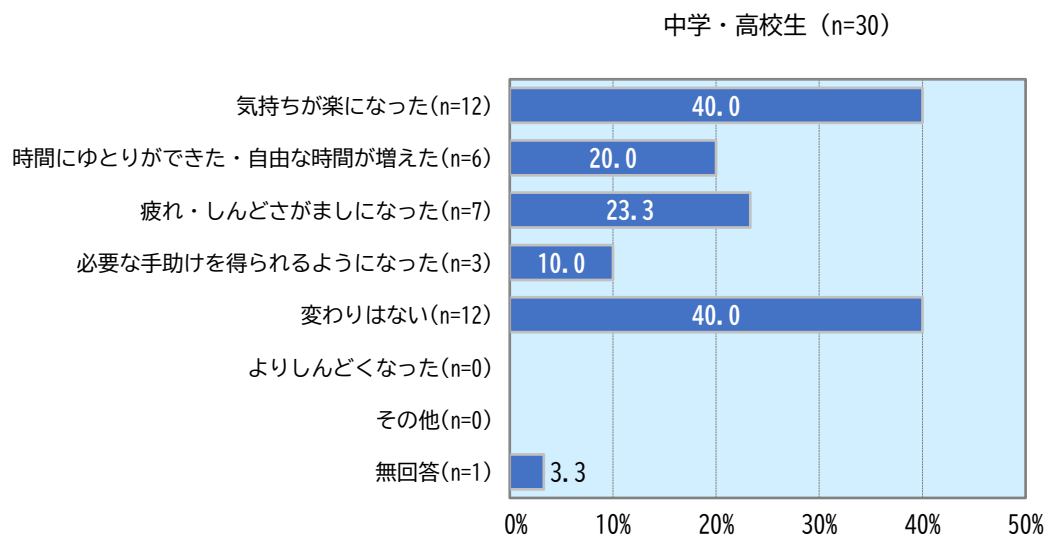
○「ただ話を聞いてほしかった」43.3%が最も多く、次いで「話の流れで何となく」30.0%となっている。また、「一緒に解決方法を考えてほしかった」26.7%となっており、現状を改善したい気持ちもあることが窺われる。



「問 17 で「ある」を選んだ人に質問です」

問 20 相談したことで、あなた自身にどのような変化がありましたか。(すべてに○)

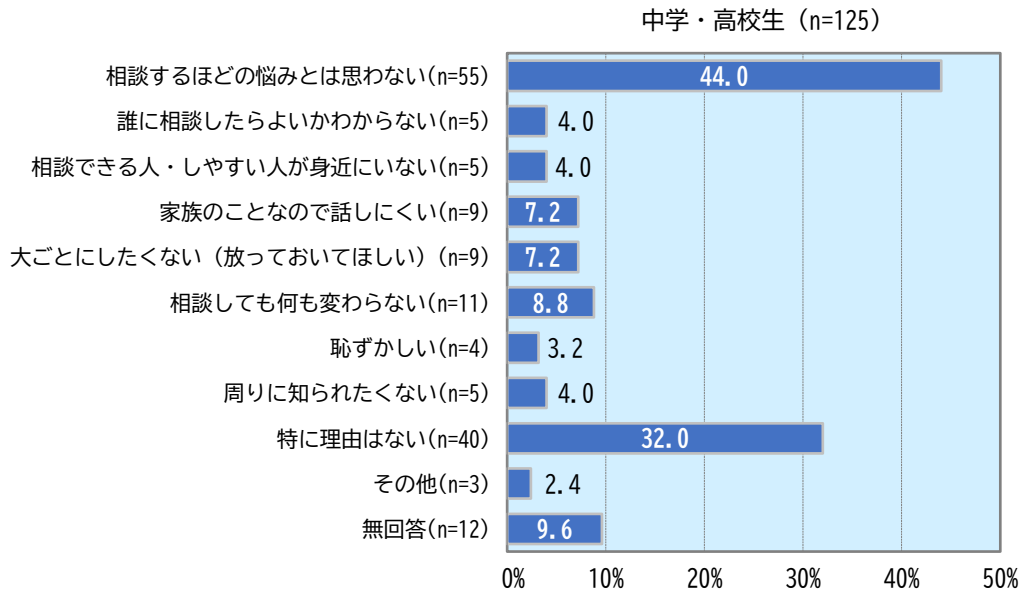
○「気持ち became 楽になった」、「変わりはない」40.0%が最も多く、次いで「疲れ・しんどさがましになった」23.3%となっていることから、相談支援の必要性が窺える。



「問 17 で「ない」を選んだ人に質問です」

問 21 相談しない理由は何ですか。(すべてに○)

○「相談するほどの悩みとは思わない」44.0%が最も多く、次いで「特に理由はない」32.0%となっている。

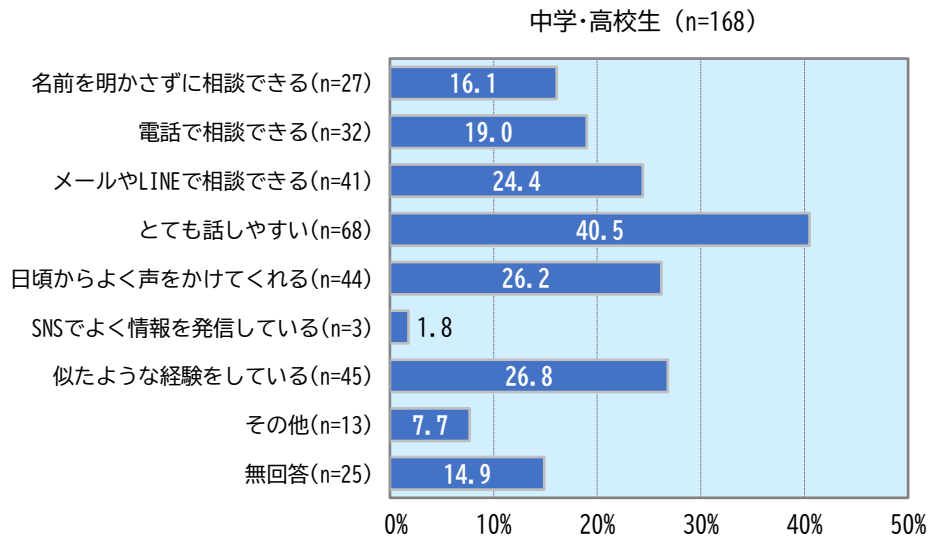


「問 8 で「いる」を選んだ人に質問です」

問 22 家族のお世話のことで、相談しやすいと感じる相手の条件を教えてください。

(すべてに○)

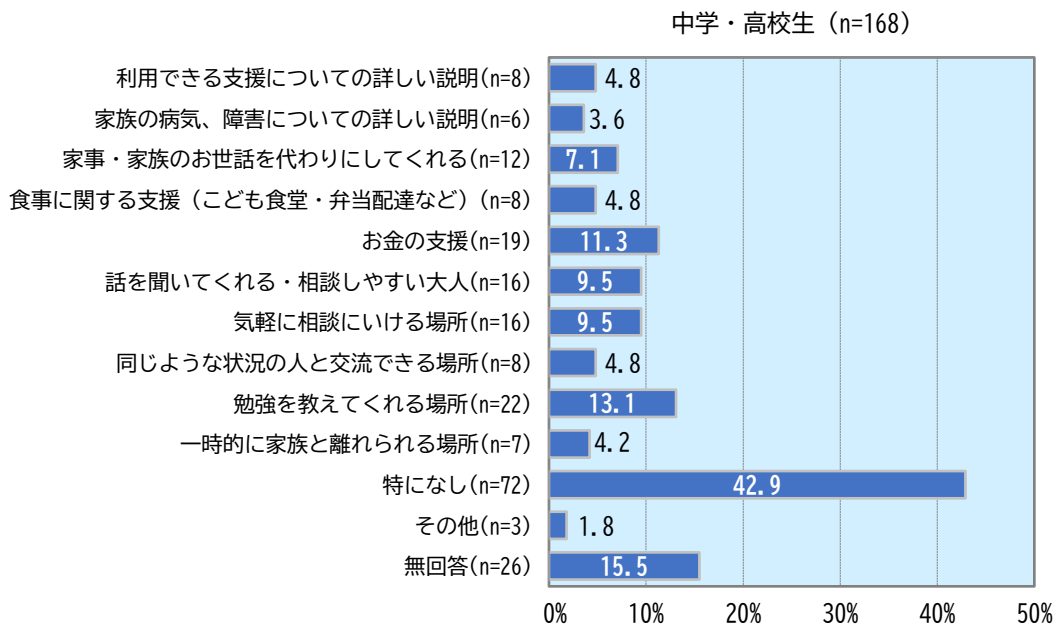
○「とても話やすい」40.5%が最も多く、次いで「似たような経験をしている」26.8%、「日頃からよく声をかけてくれる」26.2%となっていることから、身近で気にかけてくれる人や同じ体験をしている人の存在が大きいことが窺える。



「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問23 あればいいと思う支援（手助け・サポート）を教えてください。（すべてに○）

○「特になし」42.9%が最も多く、次いで「勉強を教えてくれる場所」13.1%、「お金の支援」11.3%となっている。



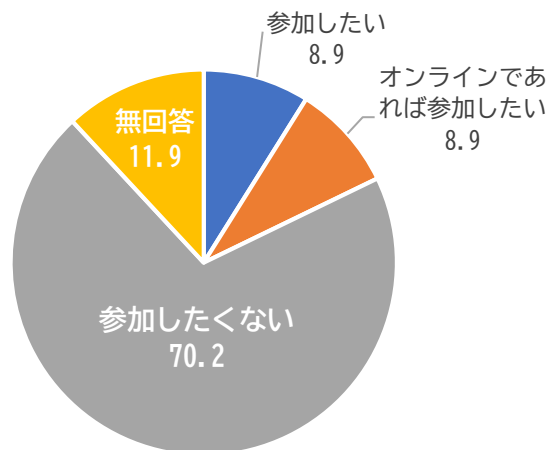
「問8で「いる」を選んだ人に質問です」

問24 同じような境遇にある人が集まる場・機会があれば参加したいですか。（1つに○）

○「参加したい」8.9%、「オンラインであれば参加したい」8.9%となっていることから一定同じ境遇の人との交流を望んでいることが窺える。一方、「参加したくない」は70.2%となっている。

中学・高校生（n=168）

（単位：%）

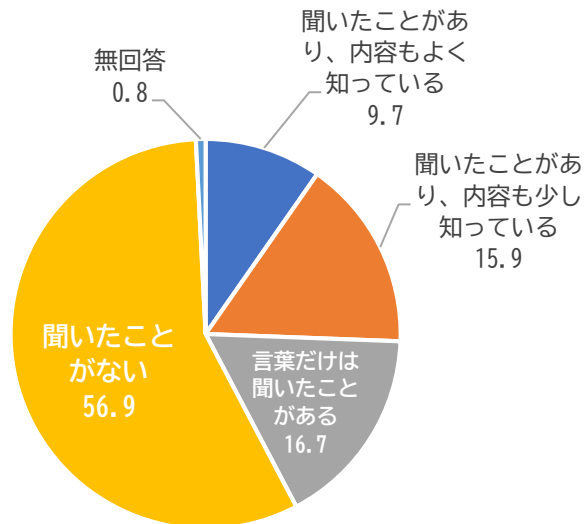


問 25 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

○「聞いたことがない」56.9%が最も多く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」16.7%、「聞いたことがあり、内容も少し知っている」15.9%となっていることから、まだまだ認知がされていない状況となっている。

中学・高校生 (n=2,374)

(単位：%)

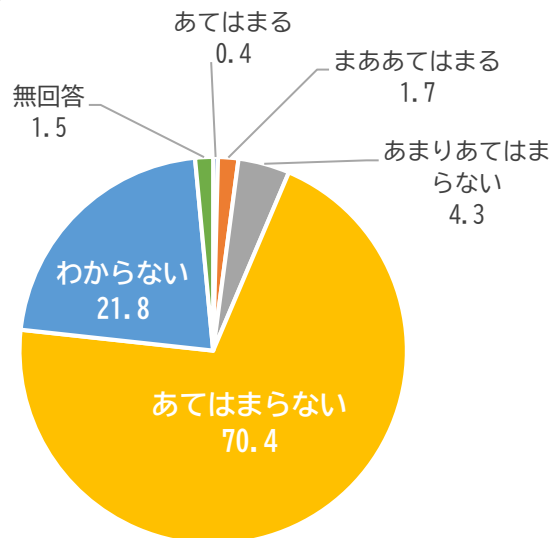


問 26 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(1つに○)

○「あてはまらない」70.4%が最も多く、次いで「わからない」21.8%となっている。一方、「あてはまる」0.4%、「まああてはまる」1.7%と自身の行為がヤングケアラーだと感じている生徒もいることが窺える。

中学・高校生 (n=2,374)

(単位：%)



問 27 もし、あなた自身やあなたの友だちが「ヤングケアラー」だった場合、周りの大人から、どのような手助け・サポートがあれば良いと思いますか。自由にご記入ください。

《中学生2年生》

内容	主な意見
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な支援があればいいと思う。 ○募金する。
家事等のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ○家事を手伝ったり、身の回りのことを助ければいいと思う。 ○ヤングケアラーの人が用事で出かけたり疲れているときは、代わりにやる。 ○親戚の人などに手伝ってもらったり、相談などを聞いてもらうとよい。 ○大人が代わりに色々してあげて、ヤングケアラーの人を休ませてあげる。
相談・寄り添い	<ul style="list-style-type: none"> ○週に何回がその人の家の状態などを見に行き、困っていることを聞いて手伝ってあげて、心に大きな負担がかかっている場合、カウンセリングなどを受けさせてあげればよいと思う。 ○相談や悩みを聞いてあげて、なるべくストレスがかからないようにする。 ○手伝ってくれるのもいいと思うけど、悩みなどを聞いてくれたり、ストレスを発散する良い方法を教えてくれたりしたらいいなと思う。 ○相談相手になってもらえる。手伝えることをしてくれる。自分のことを否定せず、肯定してくれる。 ○何かあってもすぐ手助けできるようにそばにいたり、連絡できるようにしたらヤングケアラーの人は安心して過ごせると思う。
施設整備・入所	<ul style="list-style-type: none"> ○老人ホームや保育園など世話をされる人が行く場所を近くに作ったらよいと思う。 ○看護されている人を専門の施設に入れるといいと思う。
共助	<ul style="list-style-type: none"> ○近所の人や地域の人たちに協力してお世話を手伝ってもらう。 ○自分だけがするんじゃなくて、家族全員で手助けしていく。

啓発・広報	<ul style="list-style-type: none"> ○世の中に、ヤングケアラーがいることを広めていくことが必要だと思う。 ○みんなに「ヤングケアラー」について教える取組をすれば良いと思う。
行政の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもの負担は計り知れないので、国からの支援や周りの大人の理解が必要だと思う。 ○学校などを休みやすくするような環境を作る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○そっとしてほしいと思う。 ○特別扱いをしてほしい。 ○あまり心配はしてほしくない。必要な時は助けてほしい。 ○手助け・サポートはいらないと思う。

※可能な限り、回答者の表現を用いる形で掲載

《高校2年生》

内容	主な意見
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な支援があればいいと思う。 ○補助金。
家事等のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ○忙しいとき、代わりにお世話してくれると助かると思う。 ○家事を代わりにしてくれるサポート。 ○困っていたら助けてあげる。 ○勉強が不十分な可能性が高いので、教えてあげる。
相談・寄り添い	<ul style="list-style-type: none"> ○相談にのる。 ○悩みを聞いてあげる。 ○同じ立場、同じ気持ちを分かったうえで会話をする。 ○ヤングケアラーは心身ともに病む可能性も高いので、きちんと悩みを聞いてもらう相談相手となって、信頼できる存在である必要があると思う。 ○不安なことなど共有し合う。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の人が来てくれる。施設に頼む。
共助	<ul style="list-style-type: none"> ○出来るだけ負担がないよう地域に支援団体があれば良いと思う。
行政支援	<ul style="list-style-type: none"> ○学校などを休みやすくするような環境を作る。 ○国の制度で助けてあげられると良い。

※可能な限り、回答者の表現を用いる形で掲載

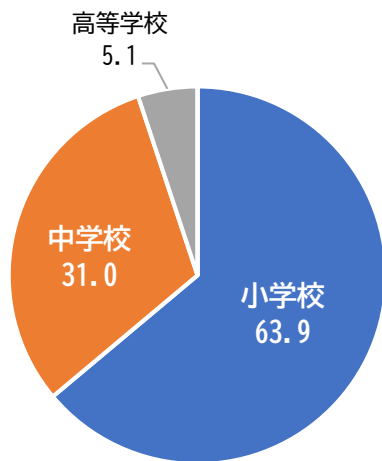
教職員

問1 勤務されている学校種別を教えてください。(1つに○)

○「小学校」63.9%、「中学校」31.0%、「高等学校」5.1%となっている。

教職員 (n=1,581)

(単位：%)



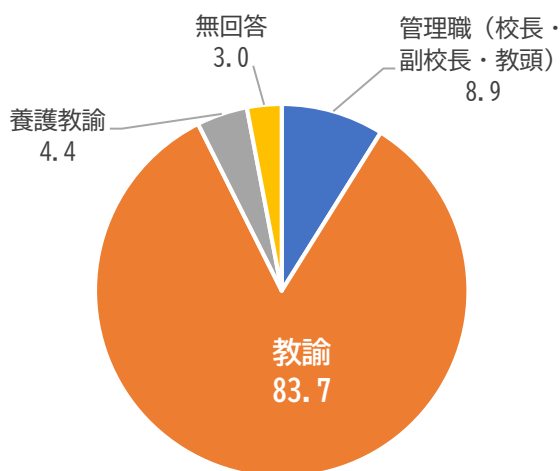
※小学校：義務教育学校前期を含む
中学校：義務教育学校後期を含む

問2 職位を教えてください。(1つに○)

○「管理職」8.9%、「教諭」83.7%、「養護教諭」4.4%となっている。

教職員 (n=1,581)

(単位：%)

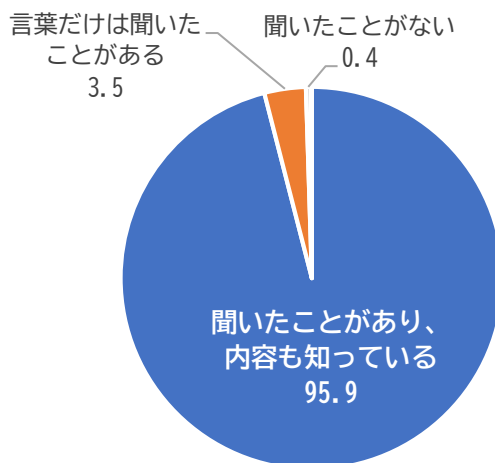


問3 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

○「聞いたことがあります、内容も知っている」95.9%、「言葉だけは聞いたことがある」3.5%となり 99.4%の教職員に認知はされている。一方、「聞いたことがない」が0.4%となっている。

教職員 (n=1,581)

(単位：%)

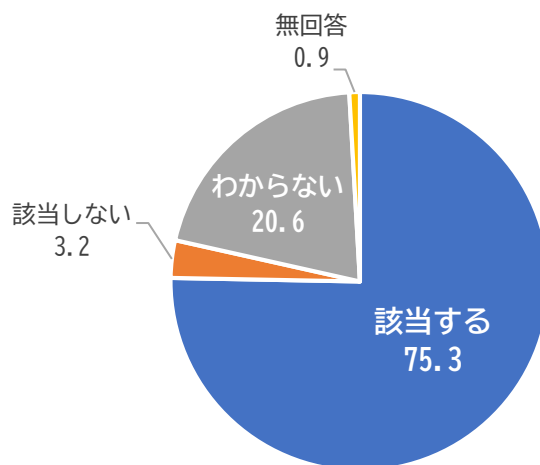


問4 「ヤングケアラー」は児童虐待の事例に該当すると思いますか。(1つに○)

○「該当する」75.3%、「わからない」20.6%、「該当しない」3.2%となっている。

教職員 (n=1,581)

(単位：%)

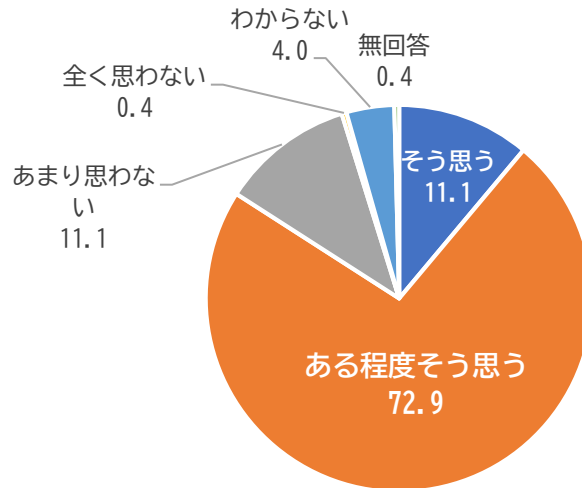


問5 児童・生徒の日頃の様子、家庭の様子から「ヤングケアラー」を早期発見することは可能だと思いますか。(1つに○)

○「そう思う」11.1%、「ある程度思う」72.9%となっており、全体の8割を超えていることから、学校がヤングケアラーの発見機関として重要な役割を担っていることが窺える。

教職員 (n=1,581)

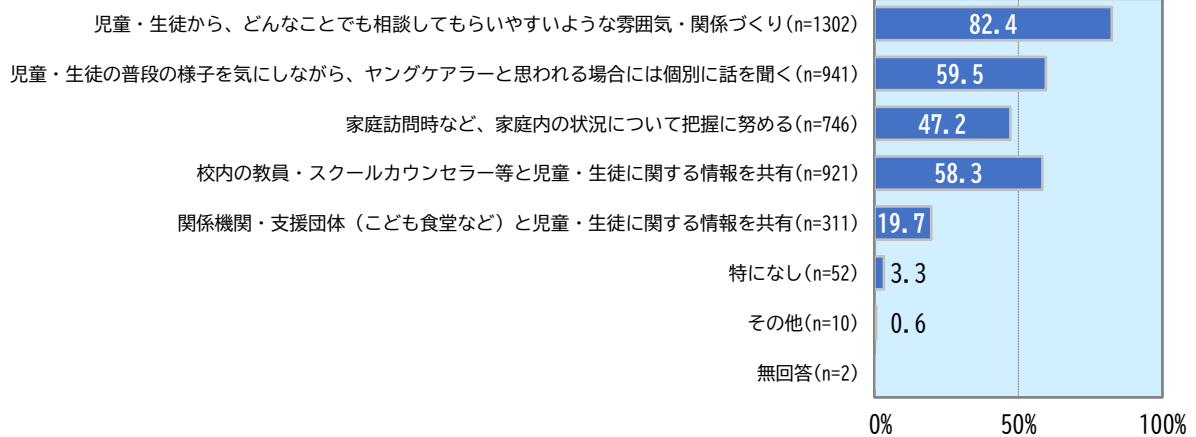
(単位：%)



問6 早期発見のために日常的に取り組んでいることはありますか。(すべてに○)

○「相談してもらいやすいような雰囲気・関係づくり」82.4%が最も多く、次いで「生徒の普段の様子を気にしながら、ヤングケアラーと思われる場合には個別に話を聞く」59.5%、「教員・スクールカウンセラー等との状況共有」58.3%となっている。

教職員 (n=1,581)

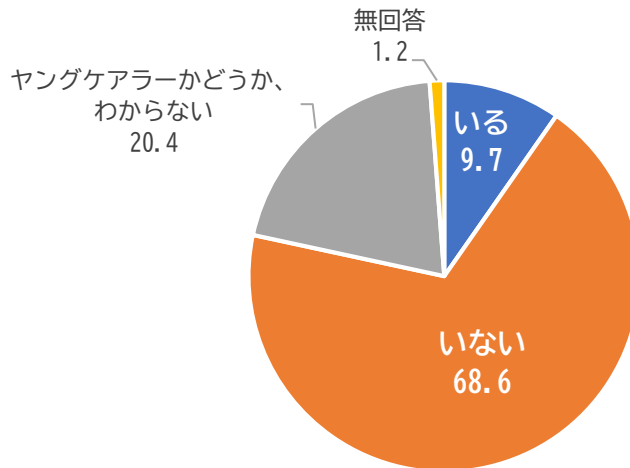


問7 現在、関わっている児童・生徒の中で、「ヤングケアラー」と思われる子どもはいま
 ですか。(1つに○)

○「いる」9.7%と1割の教職員がヤングケアラーの存在を把握している。また、「い
 ない」68.6%、「ヤングケアラーかどうか、わからない」20.4%となっている。

教職員 (n=1,581)

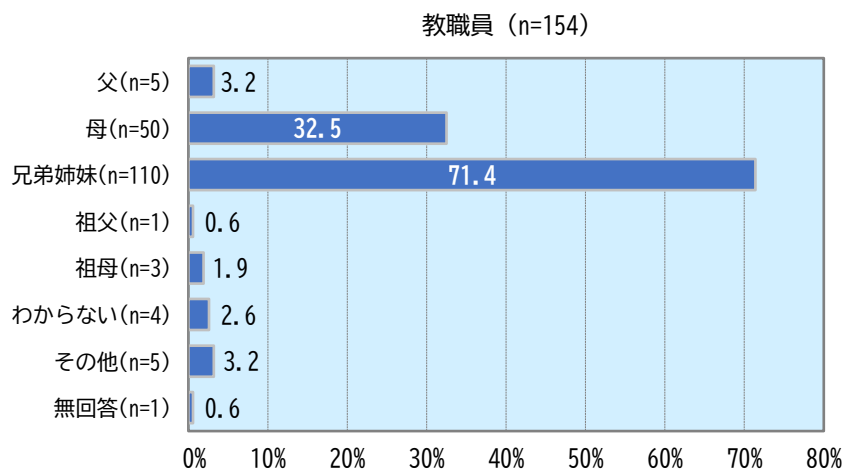
(単位：%)



「問7で「いる」を選んだ方に質問です」

問8 該当する児童・生徒がケアをしている人は誰ですか。(すべてに○)

○「兄弟姉妹」71.4%、「母」32.5%となっている。

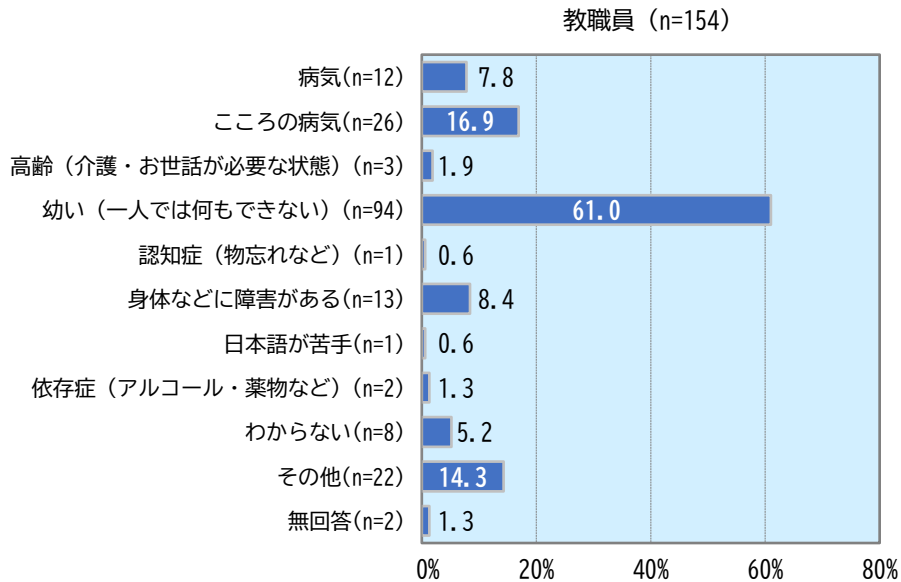


「問7で「いる」を選んだ方に質問です」

問9 該当する児童・生徒がケアをしていたと思われる家族の状況を教えてください。

(すべてに○)

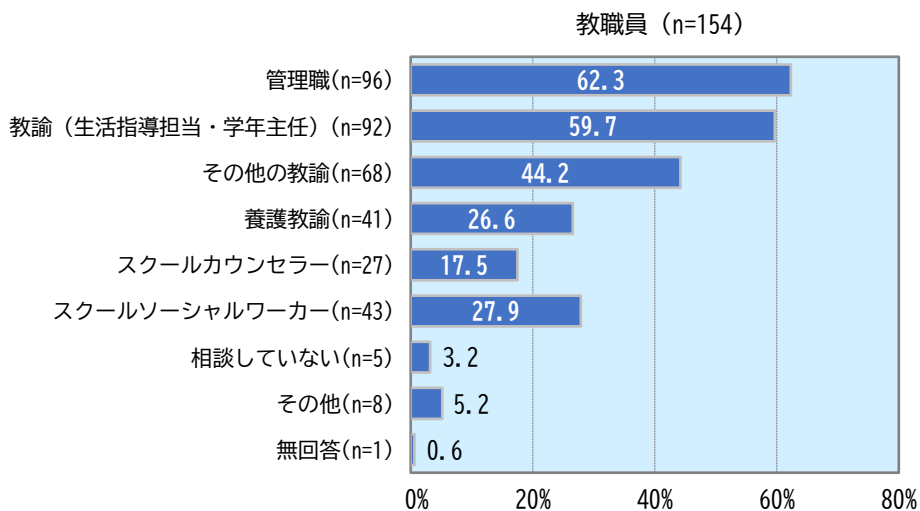
○「若い」61.0%が最も多く、次いで「こころの病気」16.9%となっている。



「問7で「いる」を選んだ方に質問です」

問10 該当する児童・生徒について、学内の誰かに相談しましたか。(すべてに○)

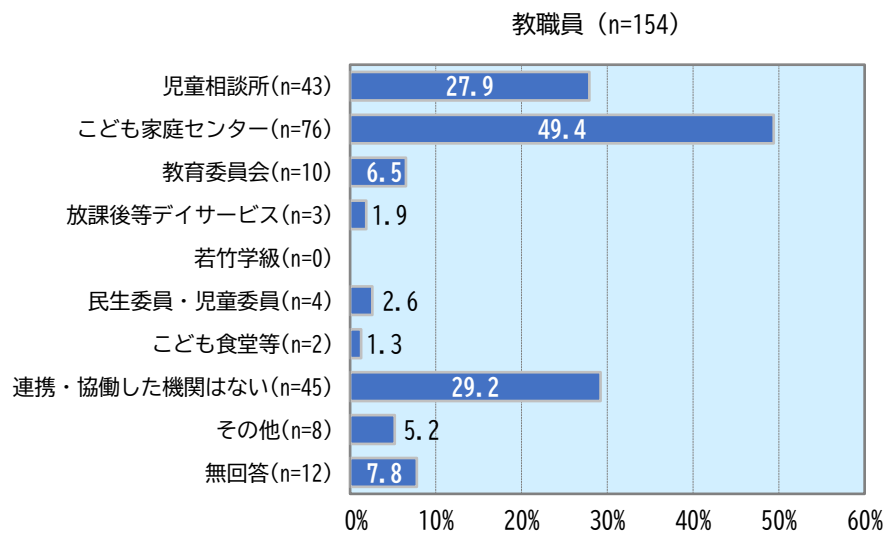
○「管理職」62.3%が最も多く、次いで「教諭 (生活指導担当・学年主任)」59.7%、「その他の教諭」44.2%となっている。



「問7で「いる」を選んだ方に質問です」

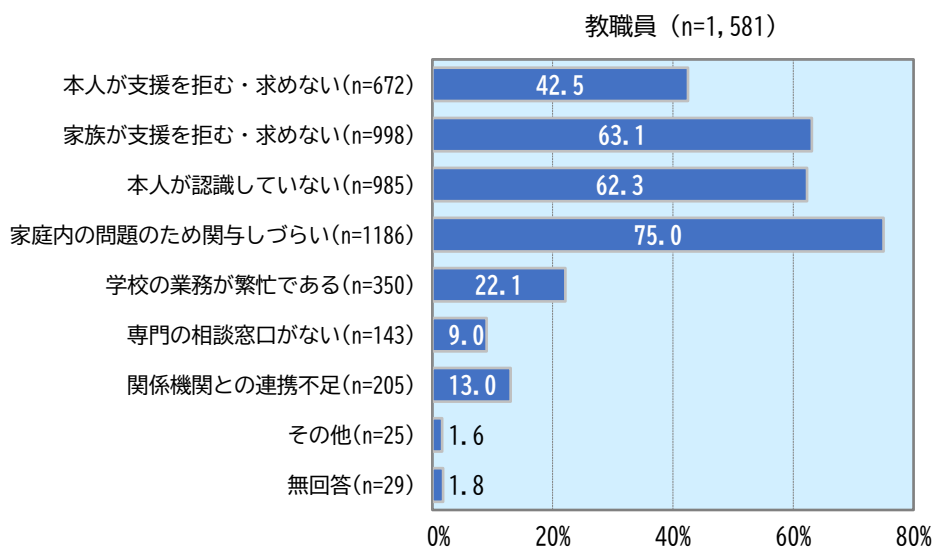
問 11 該当する児童・生徒について、支援のために情報を共有するなど連携・協働した学外の機関を教えてください。(すべてに○)

○「こども家庭センター」49.4%が最も多く、次いで「連携・協働した機関はない」29.2%、「児童相談所」27.9%となっている。また、「若竹学級」と連携・協働したという回答は無かった。



問 12 ヤングケアラーを支援する際の課題は何だと思えますか。(すべてに○)

○「家庭内の問題のため関与しづらい」75.0%が最も多く、次いで「家族が支援を拒む・求めない」63.1%、「本人が認識していない」62.3%となっている。



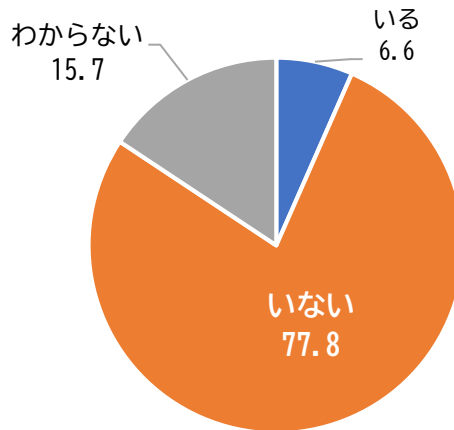
「クラスを担当されている先生に質問です」

問 14 現クラスにヤングケアラーと思われる児童・生徒はいますか。(1つに○)

○「いる」6.6%、「いない」77.8%、「わからない」15.7%となっている。

教職員 (n=977)

(単位：%)



「問 14 で「いる」を選んだ方に質問です」

問 15 担任のクラスにヤングケアラーは何人いるとお考えですか。(1つに○)

○「小学校」では、「1人」と回答した先生が26人、「2人」と回答した先生が5人、「3人」と回答した先生が1人で、担任の先生が「ヤングケアラー」と考えている児童数は39人となっている。また、「中学校」では、「1人」と回答した先生が27人、「2人」と回答した先生が4人で、担任の先生が「ヤングケアラー」と考えている生徒数は35人となっている。一方、「高等学校」では、「ヤングケアラー」と思われる生徒がいると回答した先生はいなかった。

教職員 (n=64)

上段:度数 下段:%	合計	1人	2人	3人	無回答
全体	64	53	9	1	1
	100.0	82.8	14.1	1.6	1.6
小学校	33	26	5	1	1
	100.0	78.8	15.2	3.0	3.0
中学校	31	27	4	-	-
	100.0	87.1	12.9	-	-
高等学校	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

問 13 ヤングケアラーを早期に発見し、適切に課題解決を図るためには、学校・行政・その他支援機関において、どのような取組が重要だと思われますか。ご自由にご記入ください。

内容	主な意見
関係機関等との連携・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ○小さい頃から小中高と連携していく必要があると思う。学校だけで情報を共有し、把握するのは限界がある。スクールソーシャルワーカーみたいな人が情報を把握し、教員を支援してもらえると良い。 ○気付いたことはすぐに管理職に知らせ、できるだけ早く児童を救ってあげたいと思う。 ○気軽に困っていることを相談出来、解決方法を一緒になって考えてくれる人（機関）が身近にあること。 ○こどもの様子について関係機関が情報を共有し、重大さが判明すればすぐに対策会議を設けて対応に当たることが重要。 ○学校、教育委員会、関係機関の連携が重要。学校が保護者に伝えにくいところを行政、関係機関が動いてほしい。
早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での様子を日頃の会話からキャッチすることが大切だと思う。 ○学校は常日頃から児童の様子をよく気に掛け、必要であれば専門機関と連携する必要があると思う。
ヤングケアラーに対する理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ヤングケアラーに対する理解を深め、教員、こども、保護者が相談しやすい環境をつくる。 ○ヤングケアラーに関する正しい知識を持ってこどもと関わり、得た情報を密に共有することが必要。 ○こどもの家族と信頼関係を築き、対応しやすいような体制づくりが必要（こどもの安心安全の保障）。
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートのように、児童・生徒の生活実態に関連したアンケートを定期的実施する。
人員体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ヤングケアラーだけでなく、不登校や虐待等に対処するため、関連機関の人員増加が重要だと思う。

<p>社会制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ヤングケアラーにならないですむような社会的制度の確立及び家庭への就労支援、経済的自立や経済力を上げる等の支援や指導。 ○学校は各家庭の状況把握は可能だが、その改善を家庭に訴えかけるのはハードルが高い。児童虐待の際の児童相談所のように、ある程度強制力のある専門機関が必要。 ○学校から小さな情報を上げても、行政の動きがあるか分からない。学校としてできることは限られていて、疑わしいとおもわれる家庭に踏みこむことができる組織が動かないと該当する児童生徒のためになっていかない。
-------------	---

※可能な限り、回答者の表現を用いる形で掲載

Ⅲ 参考資料(調査票)

れいわ ねんど せいかつじつたい かん ちようさ
令和6年度 生活実態に関するアンケート調査

このアンケートは、和歌山市の市立小学校（義務教育学校）に通う5年生・6年生を対象に、学校や家庭で抱える悩み・困りごとについて質問し、解決するために必要な支援（手助け・サポート）を考える際の参考にするものです。回答しないことによって、成績・内申に影響することはありませので、無理のない範囲で答えてください。

それぞれの質問について、あてはまる番号に○印をつけてください。また、「その他」を選んだ場合は、（ ）内に詳しい内容を書いてください。



I. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。（1つに○）

1. 小学校5年生（義務教育学校5年生） 2. 小学校6年生（義務教育学校6年生）

問2 あなたの性別を教えてください。（1つに○）

1. 男 2. 女 3. 答えたくない

問3 あなたの健康状態について教えてください。（1つに○）

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. わるい

II. いつもの生活について

問4 あなたは学校を欠席することがありますか。（1つに○）

1. ほとんどない 2. 1か月に1回程度 3. 1か月に2～3回程度 4. 1週間に1回以上

問5 あなたは学校に遅刻または早退することがありますか。（1つに○）

1. ほとんどない 2. 1か月に1回程度 3. 1か月に2～3回程度 4. 1週間に1回以上

III. 家族のことについて

問6 あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. お父さん 2. お母さん 3. 兄弟姉妹
4. おじいさん 5. おばあさん 6. その他（ ）

問7 家族（親・兄弟姉妹など）のことで悩みや不安がある場合、家族以外で相談しやすい相手は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 親戚（おじさん・おばさんなど） 2. 学校の先生 3. スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー
4. 塾・習い事の先生 5. 友だち 6. SNS（*）での知り合い
7. 誰にも相談しない 8. その他（ ）（*）LINE、インスタ、TikTok、X（旧Twitter）など

問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(1つに○)

(注) ここでの「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を言います。

1. いる ⇒ 問9~17 へ

2. いない ⇒ 4ページの問23 へ

問9 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. お父さん | 2. お母さん | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. おじいさん | 5. おばあさん | 6. その他 () |

問10 あなたのお世話が必要な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 病気 | 2. こころの病気 |
| 3. 高齢(介護・お世話がが必要な状態) | 4. 若い(一人では何もできない) |
| 5. 認知症(物忘れなど) | 6. 身体などに障害がある |
| 7. 日本語が苦手 | 8. 依存症(お酒・くすりなど) |
| 9. わからない | 10. その他 () |

問11 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 家事(食事の準備、掃除、洗濯など) | 2. 兄弟姉妹のお世話 |
| 3. 話を聞く(話し相手になる) | 4. 着替え、お風呂、トイレのお世話 |
| 5. 買い物・散歩に一緒に行く | 6. 病院へ一緒に行く・薬の管理 |
| 7. 見守り | 8. 人との会話を手助け(手話・通訳) |
| 9. わからない | 10. その他 () |

問12 お世話をする回数はどれくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2~3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月に数回 | 5. その他 () | |

問13 学校のある日に、家族のお世話をしている時間は一日あたりでどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1時間まで | 2. 1~3時間 | 3. 3~5時間 |
| 4. 5~7時間 | 5. 7時間以上 | |

問14 家族のお世話をすることについて、どのように感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 役に立ててうれしい | 2. できることが増えてうれしい |
| 3. 疲れる、しんどい | 4. イライラ、不安 |
| 5. 忙しい(友だちと遊べないなど) | 6. 学校を休んだり、遅刻することがある |
| 7. わからない・特になし | 8. その他 () |

問15 あなたがお世話をしたくないと思う時は、断ることができますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. できる | 2. 時々できる | 3. できない |
| 4. 考えたことがない | 5. わからない | |



問16 家族のお世話を手伝ってくれる人はいますか。(1つに〇)

1. いる

2. いない

問17 家族のお世話について、誰かに相談したことはありますか。(1つに〇)

1. ある ⇒ 問18~20、22 へ

2. ない ⇒ 問21~22 へ



問18 **★** 問17で「ある」を選んだ人に質問です。誰に相談しましたか。(あてはまる番号すべてに〇)

1. 家族(親、兄弟姉妹など)

2. 親戚(おじさん・おばさんなど)

3. 学校の先生

4. スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー

5. 塾・習い事の先生

6. 友だち

7. SNSでの知り合い

8. ヘルパーなど

9. 近所の人

10. その他()

問19 **★** 問17で「ある」を選んだ人に質問です。相談した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

1. 今の状況について知ってほしかった

2. 一緒に解決方法を考えてほしかった

3. 助けてほしかった

4. 話の流れで何となく

5. ただ話を聞いてほしかった

6. その他()

問20 **★** 問17で「ある」を選んだ人に質問です。相談したことで、あなたの生活は変わりましたか。(あてはまる番号すべてに〇)

(あてはまる番号すべてに〇)

1. 気持ちが楽になった

2. 時間にゆとりができた・自由な時間が増えた

3. 疲れ・しんどさがましになった

4. 必要な手助けを得られるようになった

5. 変わりはない

6. よりしんどくなった

7. その他()



問21 **★** 問17で「ない」を選んだ人に質問です。相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

1. 相談するほどの悩みとは思わない

2. 誰に相談したらよいかわからない

3. 相談できる人・しやすい人が身近にいない

4. 家族のことなので話しにくい

5. 大ごとにしたくない(放っておいてほしい)

6. 相談しても何も変わらない

7. 恥ずかしい

8. 周りに知られたくない

9. 特に理由はない

10. その他()

問22 どんな支援(手助け・サポート)があれば良いですか。(あてはまる番号すべてに〇)

1. 何でも話せる人がいる

2. 相談しやすい場所がある

3. 家事・家族のお世話を代わりにしてくれる

4. 勉強を教えてくれる

5. 一時的に家族と離れられる場所

6. 食事に関する支援(弁当配達など)

7. お金の支援

8. 特になし

9. その他()

IV. ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」って知ってる？



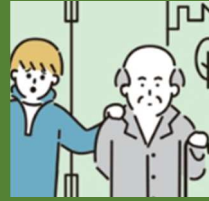
しょう びょうき かぞく
障がいや病気のある家族に
か か もの りょうり そろし
代わり、買い物・料理・掃除・
せんたく かし
洗濯などの家事をする



かぞく か おさな きょうだい
家族に代わり、幼い兄弟
しまい せわ
姉妹の世話をしている



しょう びょうき きょうだい
障がいや病気のある兄弟
しまい せわ みまも
姉妹の世話や見守りを
している



め はな かぞく みまも
目の離せない家族の見守りや
こえ せわ
声かけなどの気づかいをして
いる



にほんご だいいげんご
日本語が第一言語でない
かぞく しょう かぞく
家族や障がいのある家族
のためにつうやく
のために通訳をしている



かゆい きき ろうどう
家計を支えるために労働を
して、しょう びょうき
して、障がいや病気のある
かぞく たいす
家族を助けている



アルコール・薬物・
ギャンブル問題を抱える
かぞく たいごう
家族に対応している



がん・難病・精神疾患
など慢性的な病気の
かぞく かんびょう
家族の看病をしている



しょう びょうき かぞく
障がいや病気のある家族
み まわ せわ
の身の回りの世話をしている



しょう びょうき かぞく
障がいや病気のある家族
にゆうやく かいじょ
の入浴やトイレの介助を
している

ヤングケアラーとは 家事や家族の世話（ケア）を日常的におこない、心にも身体にも大きな負担がかかっている「子ども・若者」のことです。

問23 上で説明している「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。（1つに〇）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容もよく知っている | 2. 聞いたことがあり、内容も少し知っている |
| 3. 言葉だけは聞いたことがある | 4. 聞いたことがない |

問24 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（1つに〇）

- | | | |
|------------|------------|---------------|
| 1. あてはまる | 2. まああてはまる | 3. あまりあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

問25 もし、あなた自身や、あなたの友だちが「ヤングケアラー」だった場合、周りの大人から、どのような手助け・サポートがあれば良いと思いますか。自由に書いてください。



以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和6年度 生活実態に関するアンケート調査

このアンケートは、和歌山市の市立中学校2年生（義務教育学校8年生）・市立高等学校2年生を対象に、学校や家庭で抱える悩み・困りごとについて質問し、解決するために必要な支援を考える際の参考にするものです。回答しないことによって、成績・内申に影響することはありませんので、無理のない範囲で答えてください。それぞれの質問について、**あてはまる番号に○印をつけてください**。また、「**その他**」を選んだ場合は、()内に詳しい内容を書いてください。

I. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。(1つに○)

1. 中学校2年生（義務教育学校8年生） 2. 高校2年生

問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男 2. 女 3. 答えたくない

問3 あなたの健康状態について教えてください。(1つに○)

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. わるい

II. いつもの生活について

問4 あなたは学校を欠席することがありますか。(1つに○)

1. ほとんどない 2. 1か月に1回程度 3. 1か月に2～3回程度 4. 1週間に1回以上

問5 あなたは学校に遅刻または早退することがありますか。(1つに○)

1. ほとんどない 2. 1か月に1回程度 3. 1か月に2～3回程度 4. 1週間に1回以上

III. 家族のことについて

問6 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父 2. 母 3. 兄弟姉妹
4. 祖父 5. 祖母 6. その他 ()

問7 家族（親・兄弟姉妹など）のことで、悩みや不安がある場合、家族以外で相談しやすい相手は誰ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 親戚（おじ・おばなど） 2. 学校の先生 3. スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー
4. 塾・習い事の先生 5. 友達 6. SNS（*）での知り合い
7. 誰にも相談しない 8. その他 () (* LINE、インスタ、TikTok、X (旧Twitter) 等

問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(1つに○)

(注) ここでの「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。

1. いる ⇒ 2 ページの問9 へ 2. いない ⇒ 4 ページの問25 へ

問9 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. その他 () |

問10 あなたがお世話をしている人の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 病気 | 2. こころの病気 |
| 3. 高齢(介護・お世話が必要な状態) | 4. 幼い(一人では何もできない) |
| 5. 認知症(物忘れなど) | 6. 身体などに障害がある |
| 7. 日本語が苦手 | 8. 依存症(お酒・薬など) |
| 9. わからない | 10. その他 () |

問11 あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 家事(食事の準備、掃除、洗濯など) | 2. 兄弟姉妹のお世話 |
| 3. 話を聞く(話し相手になる) | 4. 着替え、お風呂、トイレのお世話 |
| 5. 買い物・散歩に一緒に行く | 6. 病院へ一緒に行く・薬の管理 |
| 7. 家計の支援(家族のために働くなど) | 8. 見守り |
| 9. 人との会話をサポート(手話・通訳) | 10. その他 () |

問12 お世話をする頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2~3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月に数回 | 5. その他 () | |

問13 学校のある日に、家族のお世話をしている時間はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1時間まで | 2. 1~3時間 | 3. 3~5時間 |
| 4. 5~7時間 | 5. 7時間以上 | |

問14 家族のお世話をすることについて、どのように感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 役に立ててうれしい | 2. できることが増えてうれしい |
| 3. ストレスを感じる(イライラ、不安など) | 4. 身体にだるさを感じる(元気がでない) |
| 5. 孤独を感じる(寂しさを感じる) | 6. 学校を休んでしまうことがある |
| 7. 遅刻・早退してしまうことがある | 8. 勉強する時間がとれない |
| 9. 睡眠時間が足りない | 10. 部活動・習い事ができない |
| 11. 自分の自由な時間がとれない | 12. 特になし |
| 13. わからない | 14. その他 () |

問15 お世話をしたくないと思う時は、断ることができますか。(1つに○)

- | | | | | |
|--------|----------|---------|-------------|----------|
| 1. できる | 2. 時々できる | 3. できない | 4. 考えたことがない | 5. わからない |
|--------|----------|---------|-------------|----------|

問16 家族のお世話を手伝ってくれる人はいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問17 家族のお世話について、誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. ある ⇒ 問18~20、22~24へ | 2. ない ⇒ 問21~24へ |
|-----------------------|-----------------|

IV. ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」って知ってる？



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をする



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目の見えない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

ヤングケアラーとは 家事や家族の世話（ケア）を日常的におこない、心にも身体にも大きな負担がかかっている「子ども・若者」のことです。

問 25 上で説明している「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。（1 つに〇）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容もよく知っている | 2. 聞いたことがあり、内容も少し知っている |
| 3. 言葉だけは聞いたことがある | 4. 聞いたことがない |

問 26 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。（1 つに〇）

- | | | |
|------------|------------|---------------|
| 1. あてはまる | 2. まああてはまる | 3. あまりあてはまらない |
| 4. あてはまらない | 5. わからない | |

問 27 もし、あなた自身や、あなたの友だちが「ヤングケアラー」だった場合、周りの大人から、どのような手助け・サポートがあれば良いと思いますか。自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和6年度 ヤングケアラーに関するアンケート調査

このアンケートは、教職員の皆様に対して、「ヤングケアラー」と思われる児童・生徒の把握状況を調査し、今後の本市における支援施策を行う上での基礎資料とするために実施するものです。

それぞれの質問について、**あてはまる番号に○印**をつけてください。また、「**その他**」を選んだ場合は、() 内に詳しい内容を書いてください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

I. 基本情報

問1 勤務されている学校種別を教えてください。(1つに○)

1. 小学校（義務教育学校前期含む） 2. 中学校（義務教育学校後期含む） 3. 高等学校

問2 職位を教えてください。(1つに○)

1. 管理職（校長・副校長・教頭） 2. 教諭 3. 養護教諭

II. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは 家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者のこと

問3 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 言葉だけは聞いたことがある
3. 聞いたことがない

問4 ヤングケアラーは児童虐待の事例に該当すると思いますか。(1つに○)

1. 該当する 2. 該当しない 3. わからない

問5 児童・生徒の日頃の様子、家庭の様子からヤングケアラーを早期発見することは可能だと思いますか。(1つに○)

1. そう思う 2. ある程度そう思う 3. あまり思わない
4. 全く思わない 5. わからない

問6 早期発見のために日常的に取り組んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 児童・生徒から、どんなことでも相談してもらいやすいような雰囲気・関係づくり
2. 児童・生徒の普段の様子を気にしながら、ヤングケアラーと思われる場合には個別に話を聞く
3. 家庭訪問時など、家庭内の状況について把握に努める
4. 校内の教員・スクールカウンセラー等と児童・生徒に関する情報を共有
5. 関係機関・支援団体（こども食堂など）と児童・生徒に関する情報を共有
6. 特になし
7. その他 ()

問7 現在、関わっている児童・生徒の中で、ヤングケアラーと思われる子どもはいますか。(1つに○)

1. いる ⇒ 裏面の 問8~11 へ
2. いない ⇒ 裏面の 問12 へ
3. ヤングケアラーかどうか、わからない ⇒ 裏面の 問12 へ

問8 **※** 問7で「いる」を選んだ方に質問です。該当する児童・生徒がケアをしている人は誰ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|------------|-------|----------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. わからない |
| 7. その他 () | | |

問9 **※** 問7で「いる」を選んだ方に質問です。該当する児童・生徒がケアをしていたと思われる家族の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 病気 | 2. こころの病気 |
| 3. 高齢(介護・お世話が必要な状態) | 4. 幼い(一人では何もできない) |
| 5. 認知症(物忘れなど) | 6. 身体などに障害がある |
| 7. 日本語が苦手 | 8. 依存症(アルコール・薬物など) |
| 9. わからない | 10. その他 () |

問10 **※** 問7で「いる」を選んだ方に質問です。該当する児童・生徒について、**学内**の誰かに相談しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|------------|--------------------|------------------|
| 1. 管理職 | 2. 教諭(生活指導担当・学年主任) | 3. その他の教諭 |
| 4. 養護教諭 | 5. スクールカウンセラー | 6. スクールソーシャルワーカー |
| 7. 相談していない | 8. その他 () | |

問11 **※** 問7で「いる」を選んだ方に質問です。該当する児童・生徒について、支援のために情報を共有するなど連携・協働した **学外**の機関を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---------------|----------------------------|--------------|
| 1. 児童相談所 | 2. こども家庭センター(旧こども総合支援センター) | 3. 教育委員会 |
| 4. 放課後等デイサービス | 5. 若竹学級 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. こども食堂等 | 8. 連携・協働した機関はない | 9. その他 () |

問12 ヤングケアラーを支援する際の課題は何だと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------|
| 1. 本人が支援を拒む・求めない | 2. 家族が支援を拒む・求めない | 3. 本人が認識していない |
| 4. 家庭内の問題のため関与しづらい | 5. 学校の業務が繁忙である | 6. 専門の相談窓口がない |
| 7. 関係機関との連携不足 | 8. その他 () | |

問13 ヤングケアラーを早期に発見し、適切に課題解決を図るためには、学校・行政・その他支援機関において、どのような取組が重要だと思われますか。ご自由にご記入ください。

--

Ⅲ. クラス内におけるヤングケアラーについて **※** 以下の質問は 担任をされている方のみ 回答

問14 現クラスにヤングケアラーと思われる児童・生徒はいますか(1つに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. いる ⇒ 問15へ | 2. いない ⇒ 以上で質問は終了です。 |
| 3. わからない ⇒ 以上で質問は終了です。 | |

問15 現クラスにヤングケアラーは何人いるとお考えですか。(下の枠内に数字を記入)

人

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

